妹!
【いもうと!】
アンドロード
谷澤史紀
Presented by
Shiki Tanisawa
Sister!
Android
VOLUME
02
SUI
Young Champion
RETSU Comics
REIKA KANNONJI
KASHIMA-SAN

Presented by Shiki Tanisawa
谷澤史紀
Sister! Android
VOLUME
02
妹!アンドロイド
Young Champion RETSU Comics

Sister! Android

Presented by Shiki Tanisawa

VOLUME 02

CONTENTS

EPISODE No. / PAGE

［第 8 話］ 003

［第 9 話］ 027

［第10話］ 051

［第11話］ 077

［第12話］ 099

［第13話］ 123

［第14話］ 149

［第15話］ 169

★この作品はフィクションであり、実在の個人・団体等にはいっさい関係ありません。

妹！アンドロイド

FIRST PUBLISHING LIST

初出

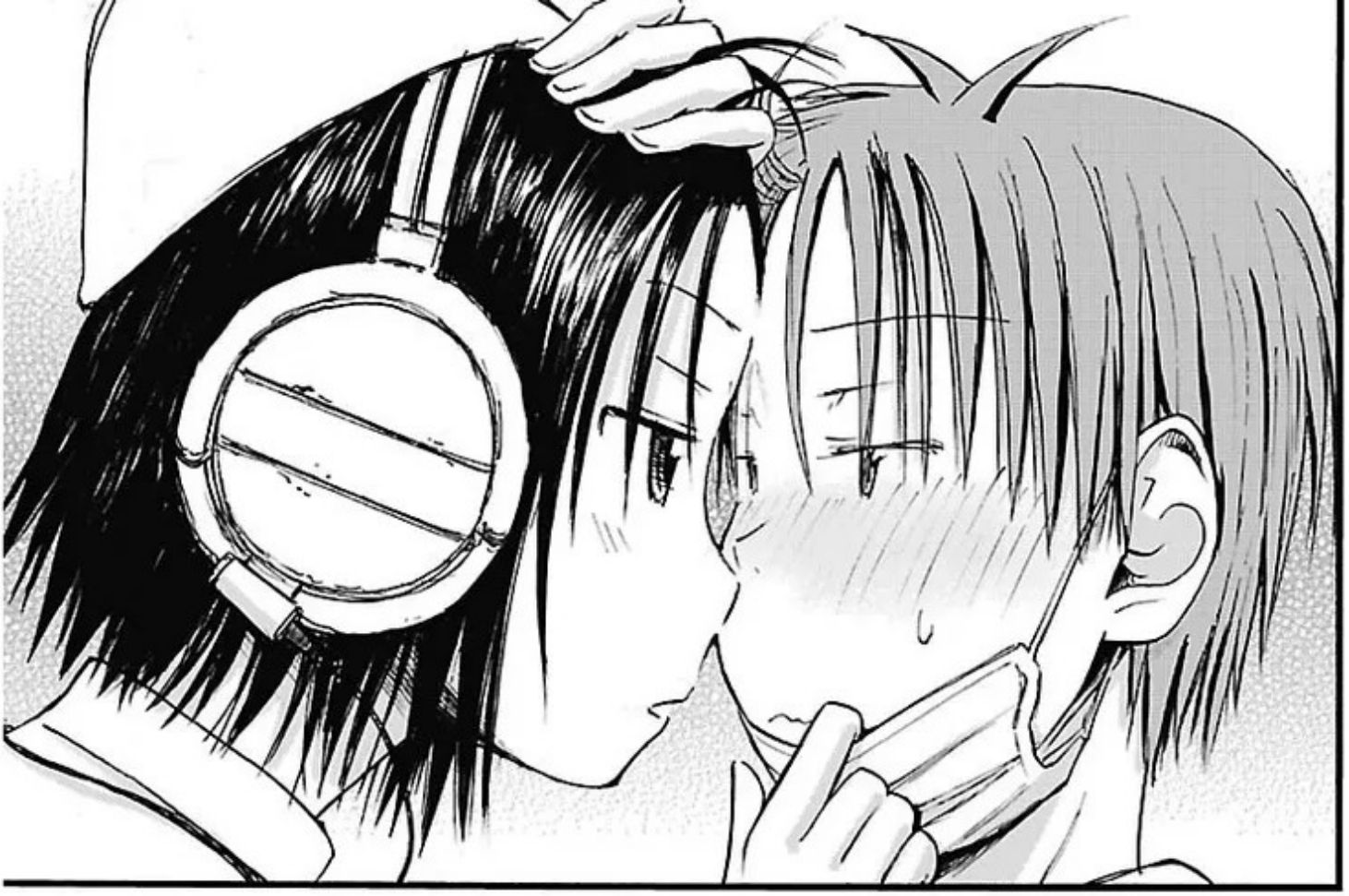
［ヤングチャンピオン烈］
2014 年 No.3 ～ 10

この物語は>>>

主人公の松田秋(まつだしゅう)は、漫画家を目指して都内の専門学校に通う、妹萌え気味でオタク趣味のさえない男の子。そんな彼が一人暮らしするアパートに、ある日突然やってきた自称妹型アンドロイドの少女・スイ!!　名前以外は全く謎だらけのスイのペースに終始乗せられっぱなしの秋は、何だかんだで彼女とドキドキ同居生活をすることになったのだが??

第8話

ゴホゴホ
うはー 明日の「妹これくしょん(仮)」の販売記念イベント楽しみだな――
お兄サマ だったらちゃんと寝て下さい
せっかく風邪治ってきたんですから
わかってるよ 前からずっと楽しみにしてたんだから！
ケホケホ
たとえ治らなくても這ってでも行く！
そんなんじゃ明日までに治りませんよ
OP(オープニング)のライブに握手会限定品の販売これを外したら兄が廃(すた)るぜ～～～
ハイハイ… ちょっと熱測りますよ～
え…？ また？



36.8
度

だいぶ下がってきましたけど
まだ少し高いですね

他に測る方法
ないのかよ
余計 熱が
上がる気が…
WATER
SHOWER
仕方ないじゃないですか
おデコに体温計機能が
付いてるんですから

でもまぁ 明日には
治ると思いますよ
元気出てきたなら
おかゆか何か食べますか？

え？ お前おにぎり以外も作れたの？
私は妹型高性能アンドロイドですよ
世界中のレシピをインプット済みです
…だったらなぜ毎日おにぎりばかり……
できました
うぉ マジでおかゆじゃん

まだ熱いですちょっと待って下さい
ふ ふ
…スイが優しい…たまには風邪ひくのもいいかも…
ゴロ
ハイ お兄サマ
ん？
これ…何入ってんの？

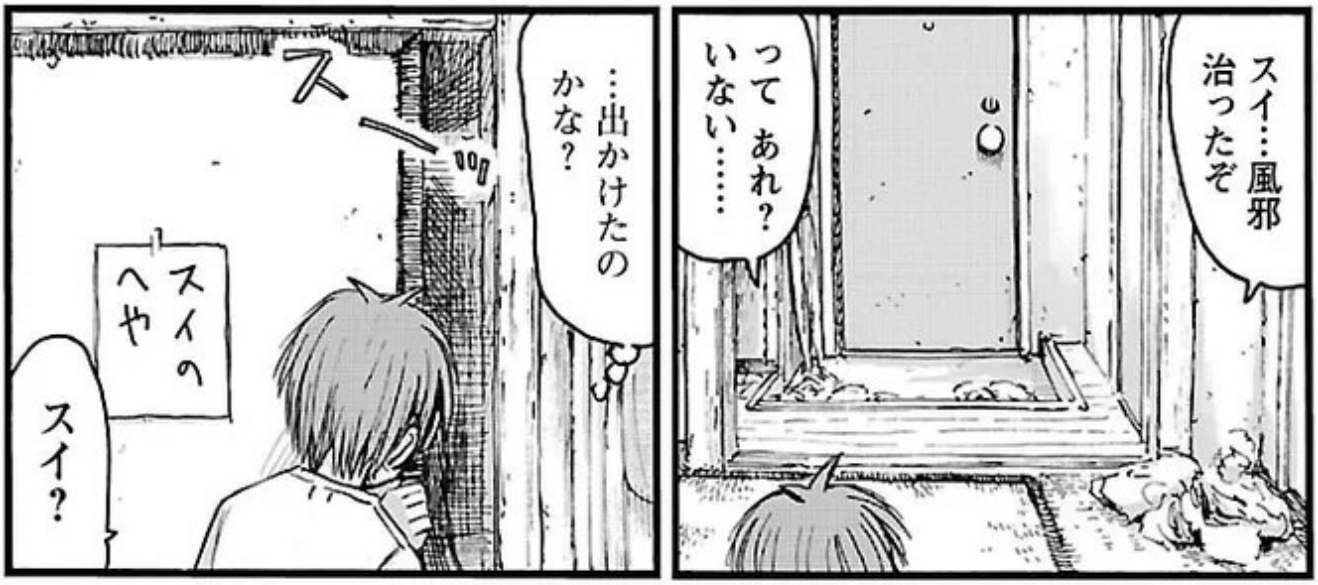
妹特製おにぎり入りおかゆです
どろぉ
ゴポゴポ
前言撤回！
もぐもぐ

どうですか？
まぁ…
思ったより
おいしいかも…
そうですか おいしいですか
なんだよ
自分も食い
たいのか？

別に食べかけでも
いいなら かまわないけど
風邪うつっても
知らねーぞ
私は
かまいませんよ
お兄サマの
風邪ですから
ズズ…

え？
なんて私
アンドロイド
ですから
風邪なんて
うつりませんけど
あ
そう…
はむはむ あ やっぱり
おにぎりは正解でしたね
とりあえず
寝るかな

熱もないしノドも痛くない！
よし！治ったぁ！


スイ…風邪治ったぞ
って あれ？いない……
…出かけたのかな？
スイのへや
スイ？

ハァ
ハァ
スイ!?

お兄サマ 勝手に開けないで下さいと言ったではないですか
ゴホ
お前 風邪 うつったのか!?
違います これは風邪ではありません
ちょっとした故障ですオーバーヒートなのです!
ゴホゴホ
ガーン
って やっぱ熱あるし風邪じゃんか!
WATER SHOWER
どうしよう とりあえず病院に…!
落ちついて下さいお兄サマ 私はアンドロイドですよ
ジタバタ
ただ今 自己修復中ですから放っておいて下さい
わ わかった 落ち着け 暴れるな
ヨロ

まぁ とりあえずオレが
飲んでた風邪薬飲め
まぁ 効かないと
思いますけど…
お兄サマがそうして
欲しいのなら…
ぐんぐん
あと
そのヘッドホン
外したら?

な 何を言ってるんですか
これはロボットである
私の耳です 外れません
カホ
ゴホ
ケホ
わ わかったよ
とにかく寝ろ!
いいですか 眠ってる間に
外そうとかしないで
下さいよ
ハイ
ハイ

スー
……
眠ってると
かわいいんだけどな…

お 起きたか
お兄サマ…
どうだ調子は？
何かして欲しいこととか
食べたいものとかあるか？

……
な なんだよ
気分悪いのか？

…お兄サマも
たまにはまともなこと
言うんですね
お前も言え

そうですね…
おにぎりが
食べたいです
お前
こんな時も
ブレないな
他にないのかよ

んじゃ ちょっくら
コンビニ行って来るよ
ごはん炊かなきゃ
もうないし…
いえ

私はお兄サマの
握ってくれたおにぎりが

食べたいのです

え…

ま まあ別に
いいけど…

ポリ
ポリ

ちょっと時間
かかるぞ

ハイ

まあ ノド通らないと
いけないから ちょっと
小さめにしたんだけど

クスッ

な なんだよ

いえ 子供の頃やはり
お兄サマがそういって
かわいいおにぎりを
作ってくれたのを
思い出しました
え？ そんなこと
あったっけ？

ってウソつけ
お前が子供の頃のオレの
ことなんか知らねーだろ！
いえ 私は
お兄サマのことなら
なんでも知ってますよ
ぱく
WATER
SHOWER

そうそう やっぱり
コレです
はむ
はむ

……
…そういやオレ…スイのこと
何も知らないな…
ケホ
ケホ

ヴィ〜ン
ヴヴヴ

おー松田ー
待ち合わせの
時間だけど 今どこよ
今日の「妹これ(仮)」の
イベント来ないのか？
風邪治らなくても
来るんだろ？
あ 本当だ
そんな時間か
あいや
わりぃ
ちょっと
わかんないから
先に行ってて

コホ
お兄サマ 私は大丈夫
ですから行って下さい
コホ
いや…でもオレが
うつしたようなもんだし
風邪じゃ
ないって
言ってるじゃ
ないですか

前からあんなに
楽しみにしてたの
ですから
行って来て下さい
私は子供じゃ
ないのですから
心配無用です
大人しく寝てます
まあ…そりゃそうかも
知れないけど…

んじゃ なるべく
早く帰ってくるよ
カチャ
ハイ
行ってらっしゃい
ヒラヒラ
パタン
……
コホ
コホ

カン
カン
カン

はぁ…
ピタ
…暑いな…

まー しゃーないかー
ゴー
キィ
お兄サマ!?
ただいまー
どうしたんですか？
イベントは？
行かなかったんですか？
はぐ
あちぐ
アイス
買って来た
ひゃう

……
お兄サマは
バカです

まぁ…欲しい物は
友達に頼んだし
病み上がりで
この暑さは
きついわ――

でも…あんなに楽しみに
してたのに…
いいから
食べろよ
アイス
溶けちゃうぞ

では なるべく
Hな感じで…
あーん♡
そーいうのは
いいから

ハイ
…こ
こうか？

身体冷えるし
そろそろ着替えた方が
いいんじゃ
ないか？
そうですね
ではついでに
身体も拭いて下さい
お兄サマ
ぬぎぬぎ
え…!?

お兄サマ…
背中だけでなく
前の方もお願いします
う…うん…

そういえば…あんまり
マジマジとスイの裸
…見たことなかった
けど…
コン
コン
細くて…白くて…きれいな
身体してるよな…

ん…
あれ…？

もしかして…スイの乳首…硬くなってる…？
ムクムク
感じてる…とか？

いやいやいや こんな時に何考えてんだ オレ！
水がちょっと冷たいだけだって

ムニュ
うひゃ

こ こら 何考えてんだお前は！
お兄サマこそこんなに大きくして何を考えているんですか？
PND
もみもみ
そ それは…

し 仕方ないだろ
目の前に半裸で女の子がいたら男ならこうなるって
ただの生理現象で……
だからって別にどうこうしようってわけじゃないからな
私は別に構わないですよ

え？
ズ
知ってますか
お兄サマ
人間は生命の
危機を感じると
ぐ
子孫を残そうと
Hな気分に
なるそうですよ
はあ？

つまり
私もカゼで弱っていて
Hな気分に
なっていると
いうことです
スイ!?

コ…コラ…落ちつけ…
ぴょん
お前…熱のせいで…変なコト言う…
はむっ
あう！
こ…こら…ヤメロ…
ずぢゅ♥
ぐちっ♥
ぶぽっ♥
スイ…うぐ…
何やって…あう
はふっ
こっちのアイスはものすごく熱くて…硬いです…
レロレロ
バカ…こんな時に…そんなこと…
がぽっ
ぐぽっ
だから こんな時らからなのれす
私の…身体も熱くて…もう
くち
くち

んっ
ビク
ビク
んくっ
あッ
ちゅく
ちゅく
はう

お願いです
私の火照りを
お兄サマ…
鎮めて…下さい…

く…
はうっ

スイのココ…
ビチョビチョだ…
もあ
汁…？
それとも…

ん…
お
お兄サマ

あ
んくっ
お兄サマ
ソコ
はふ
はふ
ペロ
ペロ
ペロ

はんっ
お兄サマの
舌が…
ぐちっ
めにゅ
ぬぢっ
膣(なか)に…

あ
気持ちいい
です…
お兄サマ…

お兄サマ
あッ
んあ
お兄サマ
はん
お兄サマ
お兄サマ
んッ
ふが
はど
んが

あッ♡
お兄サマッ
ビクン
ビクン
ビクン
んああッ♡
どくっ
どくっ
どくっ
はぁ
はぁ
はぁ
スイ…？
すいません
ちょっと疲れました
少し…寝ます…

…ったく

ス――
そんなに無理しなくても
よかったのに…バカだな…

ｷｭﾝ
ｷｭﾝ

ムク
あれ？
スイ？

あ お兄サマ
おはようございます

え!? もうカゼ治ったの!?
だから言ってるじゃないですか
風邪じゃないって
え…? でも昨日…カゼで弱ってるからHな気分に…
言ってません
いやでも確かに…
言ってません
たとえ言ったとしても
それは熱暴走によるバグです エラーです!
ただちに記憶から消去して下さい!
いや〜そんなこと言われても…
だったら私がデリートしてあげましょう
え…? それって人生のことじゃないですよね!?
い〜〜〜や〜〜〜〜

第9話

秋州出版
出版 今月の新刊

今日は声優の皆様に
お集まり頂き ありがとう
ございました
皆さん ご自身が演じた
キャラクターについて
語って頂きましたが

最後に水城雪菜(みずしろゆきな)さん演じる
四女・美由ちゃんは
どんなキャラクター
ですか？
残念ながら
本日欠席の水城さんの代わりに
皆さんの印象をお聞かせ下さい

あ 美由ちゃんて
演じてる雪菜ちゃん
まんまですよねー
あーわかるー
ちょっと内気で
人見知りな所
あるけど
明るくて
いつも笑顔
で…
二人とも
高校生
だしねー
雪菜ちゃん たまに
学校帰りで制服で
来たりするよねー

すごくいい娘なんです
あんな妹が本当に
いたらなーっていう
へー
そうなんですか

せっかく四姉妹なんですし
やっぱり会って話
聞きたかったですねー

でも 雪菜ちゃん
表には出ないんですよねー
あんなにかわいいのに…

あ でも今日はレギュラーの
ラジオ収録って言ってたよ

たぶんそっち
行けば会えるん
じゃないか
な——

ありがとう
ございましたー

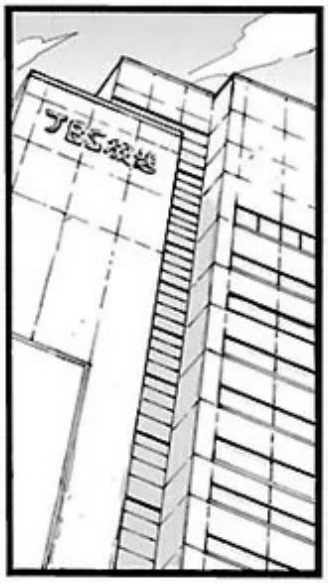
おつかれ様
でしたー

あれ？ 松田さん
どこ行くんです？

あ 私ちょっと水城雪菜さんに
話聞けないか 出待ちして
みます 今日はそのまま
直帰しますので…

お先に失礼しまーす

お疲れ——



はぁ…

4:42 PM
やっぱり雪菜ちゃん帰っちゃったかなぁ
もう とっくに収録終えてるよね

ま 仕方ない！ せっかく秋ちゃんの学校の近くに来てるんだし
秋ちゃんと一緒にご飯でも食べよう！

メール メール♪
あ でもどーせなら学校行って秋ちゃんビックリさせちゃお！

秋ちゃん 今からお姉ちゃん行くから
待っててね——

ウソ!? あれって…

高田駅
Takada Station

あら?

やっぱり
雪菜ちゃん!?
5:03PM

すごい偶然!
きき
どど
どどうしよう
さすがに声かける
のも…でも……
せっかく会えたん
だし…

え!? 秋ちゃん!?

どういうこと!?
水城雪菜さんとお知り合いなの!?
あれ? スイなんでこんなとこに!?
それにどうしたんだよその制服!

近くに来たので たまにはお迎えを と思いまして
この前 ナース服捜した時に見つけたのですが似合ってますか?
バ バカ! こんな学校の近くで誰かに見られたら大変だろ
しるりん♪

ライブに来た雪菜ちゃんにお前ソックリだったんだぞ
そんなに似てますか
うん 似てた
で 雪菜ちゃん かわいかったですか

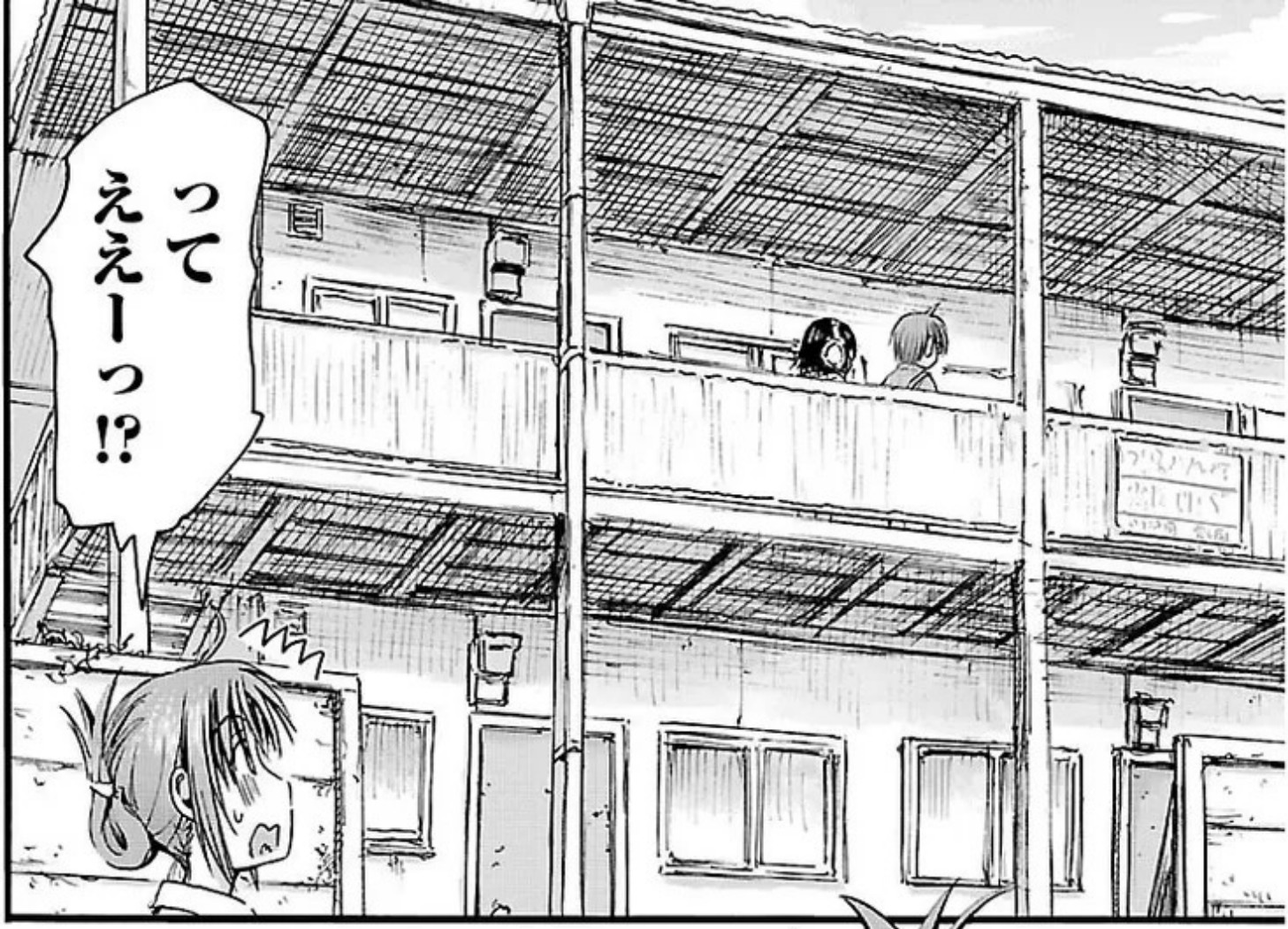
うん…
かわいか…
べ 別に
ふつーだよ
ヘー雪菜ちゃんって
かわいくないんですか
ち ちげーよ！
雪菜ちゃんは
かわいいけど
お前はフツーだよ！
なんでですか
おかしいじゃ
ないですか

…二人で
仲良さそうに
会話を…
…何を話して
いるのかしら…

二人は一体
どんな関係…？

どこに行くの
かしら…
二番線に
電車が――

ゴトン
ガタン
も もしかしてお付き合い
しているとか…？


ってええーっ!?

ど どうしよう…
出て来ないし…
このまま帰るのも
部屋で何をしてるのかしら…

君の心と身体はオレのモノだぜ
秋…君…
もやもやーん

二人で秋ちゃんの部屋に…
それって二人はもう…

ダメよ 秋ちゃんたら
姉の承諾なしに
そんなこと…！
姉として しっかり教育的
指導しなくっちゃ!!
よし！

ピンポーン
ハイ〜

ナデナデ
え!?
姉ちゃん!?

秋ちゃん！ あなた!!
ぐいっ
え!? ちょ
ちょっと待った！

水城雪菜さんと
どーいう関係なの!?
BOOM!!

え!?
ぐる
あ いや…
これは――
ぐる
スイのこと
流石に姉ちゃんに
妹だなんていいわけ
できないし…
つか なんで姉ちゃんが
雪菜ちゃんのこと知って…

ハイ 水城雪菜です
弟さんと
お付き合いしてマス

ええ～～～!?
やっぱり!?

ちょ～スイ お前
雪菜ちゃんになりすます
なんて何考えてんだ!!
ひそひそ
だってこの場合
仕方ないじゃ
ないですか
ドキ
ちょっと秋ちゃん?

ずるい 二人だけで内緒話なんて!
どういうこと!?
お姉ちゃんにも話しなさい!
そ そんなこと言われても…

秋ちゃん 水城さんとどこで知り合ったの!?
いつからお付き合いしてるの!?
いや… えと…

専門学校です
ライブ終わったあと学生さんに囲まれて困っていた私を
助けてくれたのがおに…秋君なんです

…コイツ… もっともらしいウソをスラスラと…
しれっ
そ そうなんだ

それで? 水城さんは秋ちゃんのどこを好きになったの?
え…

えーと…
それはですね
……
うーん…
そこもスラスラ
答えて下さ～い

あなた 本当に
付き合ってるの!?
秋君はこんなに
かわいくて
やさしくて
カッコいいのに!!
どうして答え
られないの!?
……

それに私が聞いた雪菜さんの
イメージと全然違うし!
みんな内気だけど
明るくて いつも笑顔
だって言ってたのに!
そ…それは…

あ それは
営業
スマイル
です
おい…
雪菜ちゃんのイメージが…

でも…おに…
秋君の前で
だけは…私…

素の自分で
いられるんです

スイ…

でもやっぱりダメー!
秋君は私のものなのー!!

わたしは認めませんからね!
秋君はきっとだまされているんだわ!
それは否めない…

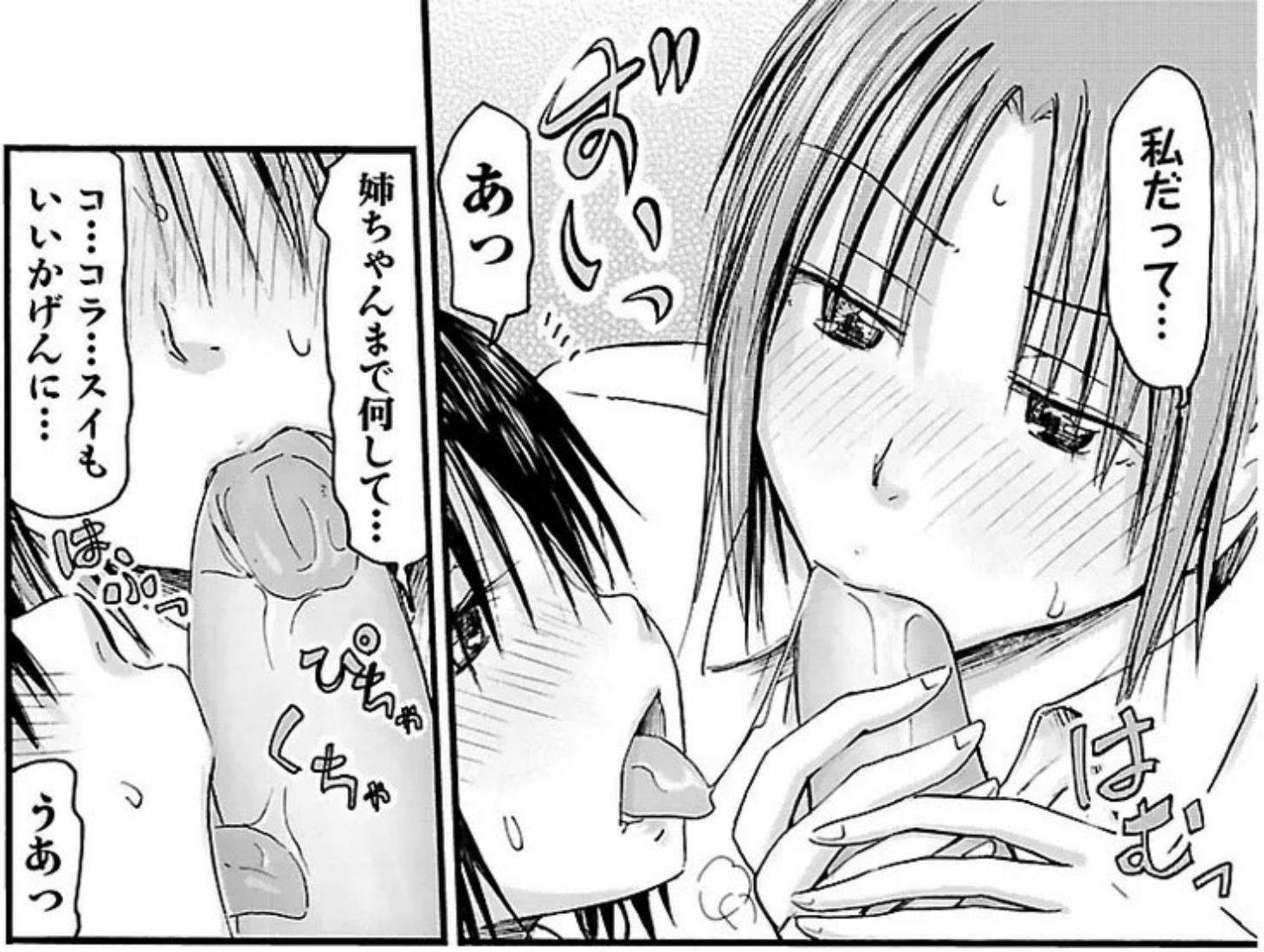
秋君はどうなの!?
お姉ちゃんと水城さん
どっちが大切なの!?
え…?
いや…急に
そんなこと…
やっぱり
お姉ちゃん
よね
そんなの決まってる
じゃないですか
お姉サマが何と
言おうと私達は
すでにこういう
関係なのですから
!?
そんなの
私だって!

!?
な 何すんだよ 姉ちゃん
これで 張消しです！
こっちは子供の頃から チューしてるんですからね——
それに私はあなたに お姉ちゃん呼ばわりされる いわれはありません
でも 私達は キスだけじゃ ありませんよ
わ バカ 何してんだ スイ 姉ちゃんの前で
そんな…秋ちゃん!?
そんなことまで…!?
あう…

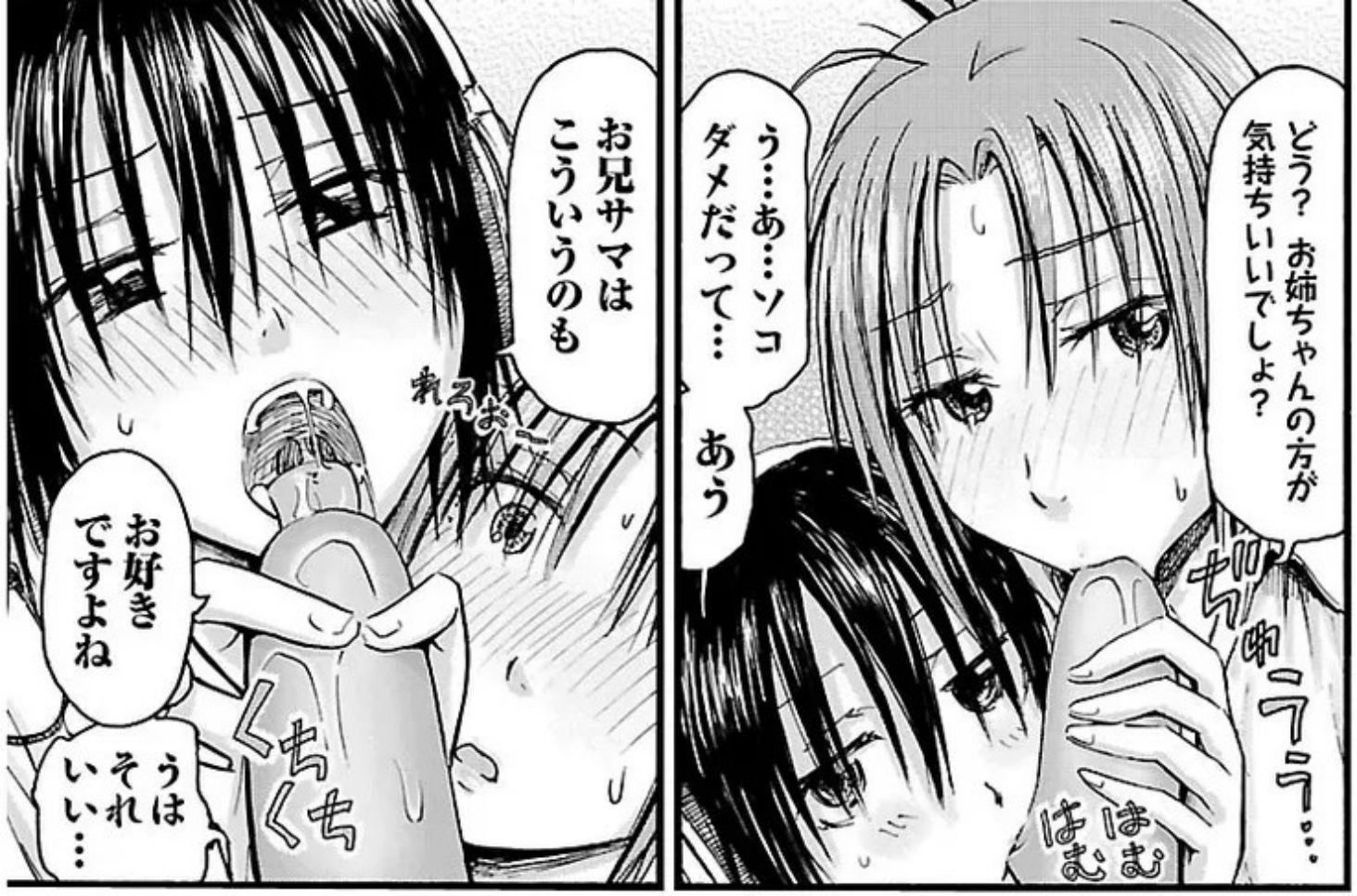
う…ヤメロ…
だ だめ
秋ちゃん
ガマンして
お兄サマ…
ここがお好き
なんですよね
うぁ…バカ
スイ…
カポ
カポ

秋ちゃん!?
スイって…?
お兄サマ?
え…?
お兄サマは
妹好きですから
やっぱり姉より妹の方が
いいんですよね お兄サマ
コスコス

バ バカ
何言ってんだ
お前は…
お前だなんて
秋ちゃん…
そんなに
親しい
仲に…
しかもスイ
だなんてアダタ。
まで…
……
ピカピカ


私だって…
あっ
姉ちゃんまで何して…
コ…コラ…スイも
いいかげんに…
うあっ

くぁ
姉ちゃんと
スイが…
一緒に…
うくっ
気持ち…
良すぎ…
あ…


どう？ お姉ちゃんの方が気持ちいいでしょ？
ちゅこっこっ…
はむはむ
う…あ…ソコダメだって…
あう
お兄サマはこういうのも
れろぉ～
お好きですよね
うはそれいい…
くちくち

私だって…
あ…コラ
今度は交互に…う…は…
ぱぷっ
ぱぐっ
あは…秋ちゃんここ…いいんだ…
あずるいですお姉サマばかり…
あう
私にも
ダメ…秋君はもう誰にも渡しません
くね
秋ちゃんはずっと私の…もの…
うあ…姉ちゃんそんなに…深く…
……
ぷぷっ
ぷぽっ

でしたら
仕方ないですね
なら私は
お姉サマを…
そ…そんな
…ダメ…

ん…
は…
ペロ

わ…流石 お姉サマ…
おっぱい…やわらかくて
…感度もいいんですね…
もにゅ
くにくに

あ
そしてこっちも
ヌルヌルして…
すごく熱いです
ヤ…ダメ…
そんな指で…
あ
もぐ
くち

あ…ソコッ
ソコは…
くあッ
ダメッ
く…
あッ
ぬちゃ
ぬぷっ
プロプロ
ぐにぐに

え…姉ちゃん
激しい…止め…
ぷるぷる
秋ちゃん…すごく
ビクビクして…
はぁ
はぁ
もうイキそう
なのね…
お姉サマも…もう
ビチョビチョですよ
ぬちゃ
ぐちゃ

イヤッ
ビクン
秋ちゃんの前で
そんなこと…
言わ…ないで…
あッ
くぁっ
イクッ!!
ぴゅっ
ピュ
あッ!!
私も
あッ
ビク
んあッ…
あああ
あ!

ハァ
ハァ

なかなかやるわね
雪菜…いえ スイちゃん…
お姉サマこそ…

…よかった…
これで雨降って地固まる…
一件落着かな…

でもやっぱり秋ちゃんはお姉ちゃんのモノです
え!?
フッフッフ…
そういわれては妹としてゆずれませんね

秋ちゃんはお姉さんの方が好きよね——
いえ やっぱり妹の方が好きですよね お兄サマ
えと…
あの…

バチ バチ
バチ
BOOM!!

…うわ…面倒臭いことになってきた…
そそ
ここ
ここは いったん退散しよう…
なんかこえーし

あら〜? 秋ちゃん? どこに行くの?
ガシッ
お兄サマ まだ話は終わってませんよ

だいたい秋ちゃんが照れてお姉ちゃんが大好きだって言わないのがイケないんです!
そうです お兄サマ 妹が好きだってハッキリ言ってあげて下さい!
うああ〜〜〜ん!!

第10話

日本アニメマンガ専門学校
ん？ 何かあった？
インフルエンザで倒れちゃって
人手不足でピンチなの
他に誰か代わりがいないかって…
あうん 私の
バイト先なんだけど…
レイちゃん
どうかな？
え？ 鹿島(かしま)の
バイトって…
まあ…
いいけど…
ありがとう！
他に誰か
いないかな
うーん 女じゃなきゃ
ダメだよなぁ……
え？ あ…ハイ…
わかりました
ちょっと探してみます

いや…一人心あたりが…

え？ 鹿島さんのバイトの手伝い？

別にいいけど？

よっしゃ！ 決まりな

え？ でも…

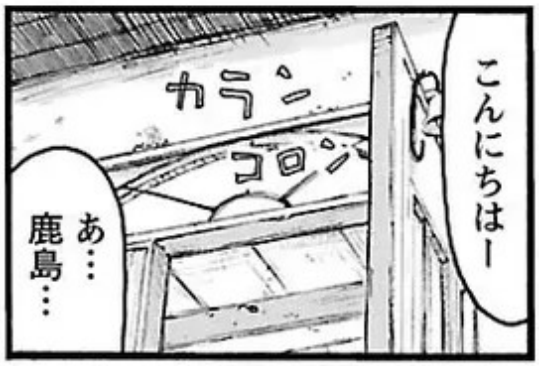
じゃ お前 例の女装してこいよ

え!! なんで!? …鹿島さん… なんのバイトしてるの…

…ちょっと恥ずかしいから…

黙ってたんだけど…

くっそ…もっと
早く知っていれば
オレも通ったのに…


こんにちはー
あ…
鹿島…

え…!? これって
メイド喫茶…
あ でもウチの店
メイドの制服着てる
だけで 特別なことは
してないから
安心して

えと
こちらは
バイトの
センパイの
あおいさん
よろ

こちらは同じ学校の
観音寺さんと
松田君
あ
どーも
こんにちは

いろいろ
すまんね
どよん

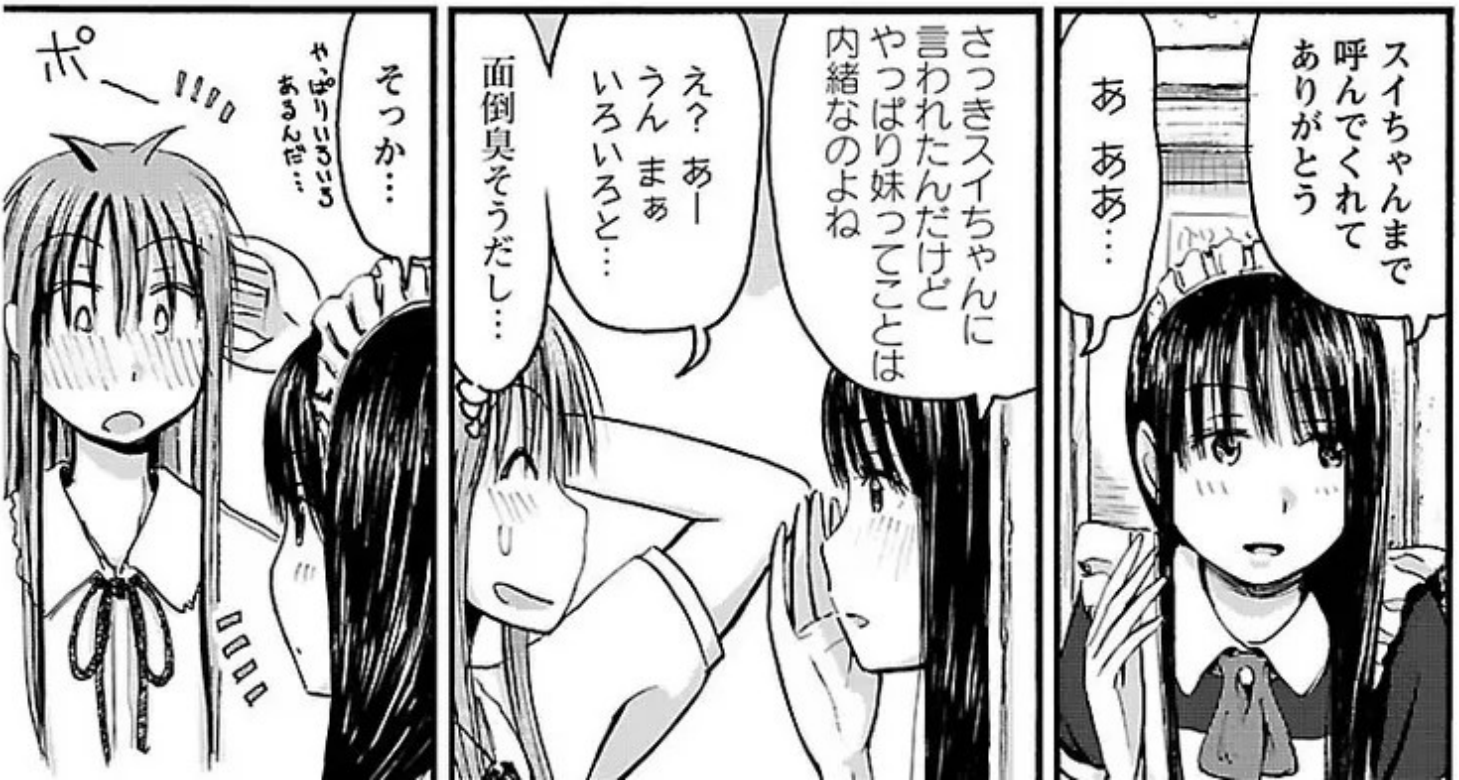
観音寺さんに松田…君…？
…？男…!?
ガビ
ガタッ
ブシュ〜
セ センパイ!?
え——!? なになにどうしたの!?
オレ何もしてないよ
センパイ男の人が極端に苦手なの
リアルオトココワイ
どくどく
そんなんで どうやって接客するんだよ
メイド服着たら大丈夫なんだって
センパイ早く制服に着替えましょう
パタン
更衣室
う…うん……
お前もメイド服に着替えるんだぞ
え!? オレも？
ガチャ
この店の店員は全員女の子という決まりなんですよ

え!?
なんで
こんな
ところに!?
雪菜ちゃん!
水城雪菜ちゃん
でしょ!
うわ スゲェ
本物だよ松田!
スゲー
かわいい!!
なんで
ココに
いるの!?
スイ
ニセモノ
だけど…
えーと
メイド役の
役作りで…

ライブの時とは
なんか雰囲気
違うんだな!
今は
ロボット
メイド
なので
またスラスラと
ウソを…
あのう 一応
私のことは
内緒でお願い
します
そっか
お客さんに
バレたら
大騒ぎだよな
ですので
今回はスイと
呼んで下さい

え？ スイ…？
それって
確か松田が
雪菜ちゃんの
ライブの時に…
ハイ…実はデビューしたての
時は本名のスイを名乗って
まして
初期のファンの方の中には
スイと呼ぶ人もいるんです

へーお前…筋金入りの
雪菜ちゃんファンなんだな
あー
ウン
それはそう
なんだけど～
じゃオレも
スイちゃんって
呼んでも
いいかな？
ハイ
勿論です
あ 松田君


スイちゃんまで
呼んでくれて
ありがとう
あ ああ…
さっきスイちゃんに
言われたんだけど
やっぱり妹ってことは
内緒なのよね
え？ あー
うん まぁ
いろいろと…
面倒臭そうだし…
そっか…
やっぱりいろいろ
あるんだ…
ポー

鹿島さん メイド服
よく似合ってるね
ほーんわか
え…あ
ありがとう

しをり

ちょ ちょっと
待って
心の準備が…
ガチャ

うう…やっぱ
恥ずかしいな…
おーい 着替え
終わったかー？
開けるぞー
TOILET

みんな 準備できたかー？
あおい

…お前…意外と似合うな…
あ！ かわいい
しをり
レイ

え？ 誰？
アキ

あ センパイ OKです
スイ
え!?
センパイって さっきの アレ？
メイド服着たら こんなに変わるの？

しかしみんな
レベル高いなー
さすが鹿島の友達…
今日のウチの店…ヤバくね？

…ってお前
さっきの男!?
ぜんぜん
フツーに
見えるな
ハイ
おまえもなー

…流石に
声出すと
男だって
バレるな
ですよねー

まいっか 時間ないし
じゃあ松田は厨房で
裏方な
鹿島はそっちの
二人に接客を
教えてくれ
わかりました

ありす

OPEN

いやーこの店に一人
スゲーかわいい娘いてさー
ヘーマジで
どんな娘？
まー見りゃ
一発でわかるよ
カラン
コロン
いらっしゃいませー
ご主人様♡
スイ

うおお
スゲーな
この店
ザザザ
何だよ
今日～～
ヤベーよ
かわいい娘って
誰だよ みんな
かわいいじゃねえか

いらっしゃいませ
ご注文はお決まりですか？
スイ

……
えと…じゃあコーヒー
あオレも
オレも
かしこまりましたご主人様

ひらりん
うぉー今の娘スゲーかわいー
声まで天使だったよなー
ザワ
ザワ
ザワ
でもなんでヘッドホン？

ザワ
ザワ
ガヤ
ガヤ

ふ――ちょっと一段落したかなー
ここ撮影禁止なんだよなー
くっそー写真撮りたい…
でも一時はどうなるかと思ったけど助かったよ
さすが鹿島の友達…

二人とも接客は初めてだって言ってたけど…
あんなにテキパキと…
ひょい
ひょい
サラ
サラ
うめー
おおー
三つ同時に…

それに比べてこいつは…
もたもた
お――いパフェまだか――？
ハイ～～～
それでは形崩れてしまいますよお兄サマ
ひよい
わ わかってるよ

いいですか？ ここを こうして…
ちょっ…スイ…
動かないで 集中して下さい

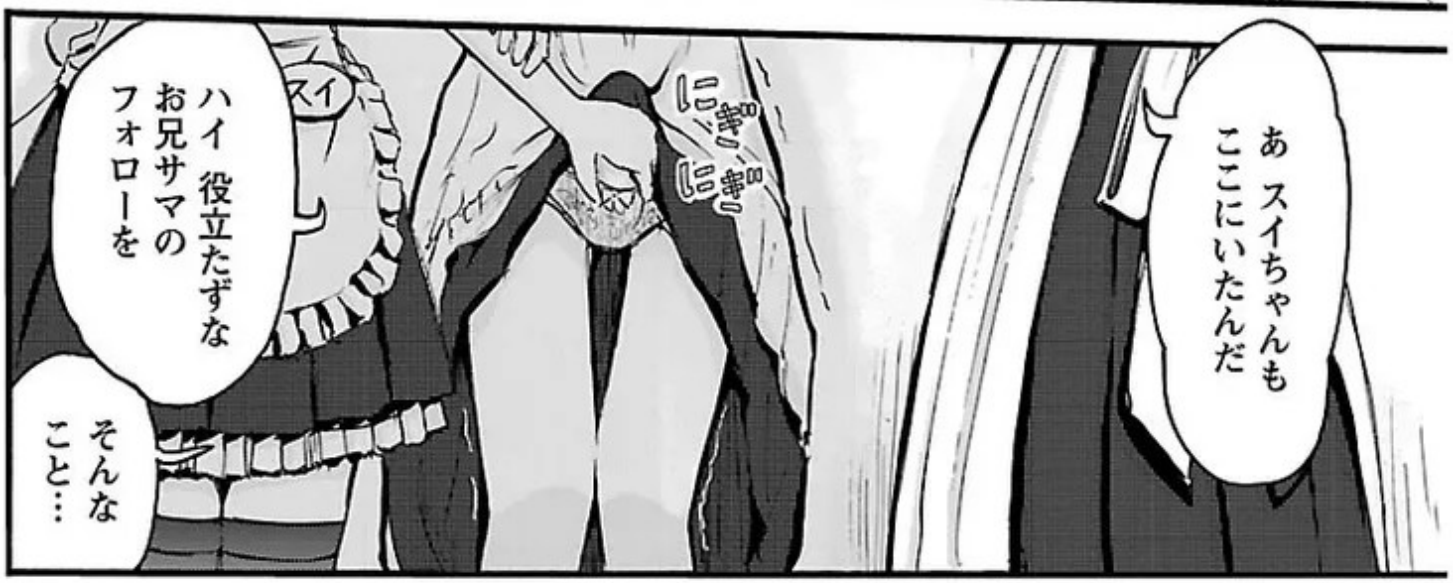
ピト
スイ
いや…でも…
こんなの誰かに 見られたら…

あーあ もう
指にクリームついちゃった じゃないですか

ちゃんと お兄サマが
んくっ
きれいに 舐めとって 下さい
ん… は…

ちょ…スイ…バカ
何考えてんだ…
お兄サマこそ
何考えてるん
ですか
本人いるのに鹿島さんの
パンツはいてきて…
そ
それは…
ここ…こんなに
大きくして
ヘンタイです
わっ
まるっ
私のおっぱいは
どうれすか？
もしかして観音寺さんの
メイドおっぱいや
ほ主人さま
ご主人様
私のお口
気持ちいい
ですか？
んくっ
ぷる
ぷる
鹿島さんのかわいい
お口でご奉仕プレイ
想像してたんですか？
そ…
そんな
こと…
んあ
松田君？
どきん

えと…パフェは…？
あ…ごめ…今
あ これです
ハイ
ありがとう
アキ


あ スイちゃんも
ここにいたんだ
にぎ
にぎ
スイ
ハイ 役立たずな
お兄サマの
フォローを
そんな
こと…

私は松田君と一緒に
バイトできて
嬉しいよ
じ〜ん
鹿島さん…
……

そぉ…
チャリン
あ お兄サマ ボーとして 何落として るんですか
え？
大丈夫？
ハイ
ひょい
……
はう！
ぱくっ
え？ どうしたの？ 松田君
いや…う… なんでも…
でも…松田君 なんか 変じゃない？ 顔赤いし…
もしかして…
んあ
んっ
くっ
熱でもあるんじゃ…
ちゅぽ
ちゅぽ

うわ…鹿島さんが
こんな近くに…
どきー
どきー
どきー

んくっ
じゅぶ
じゅぶ
じゅぽ
もう…ダ…
ダメだ…

ピク
ピク
イク…！
…え!?
そんな…

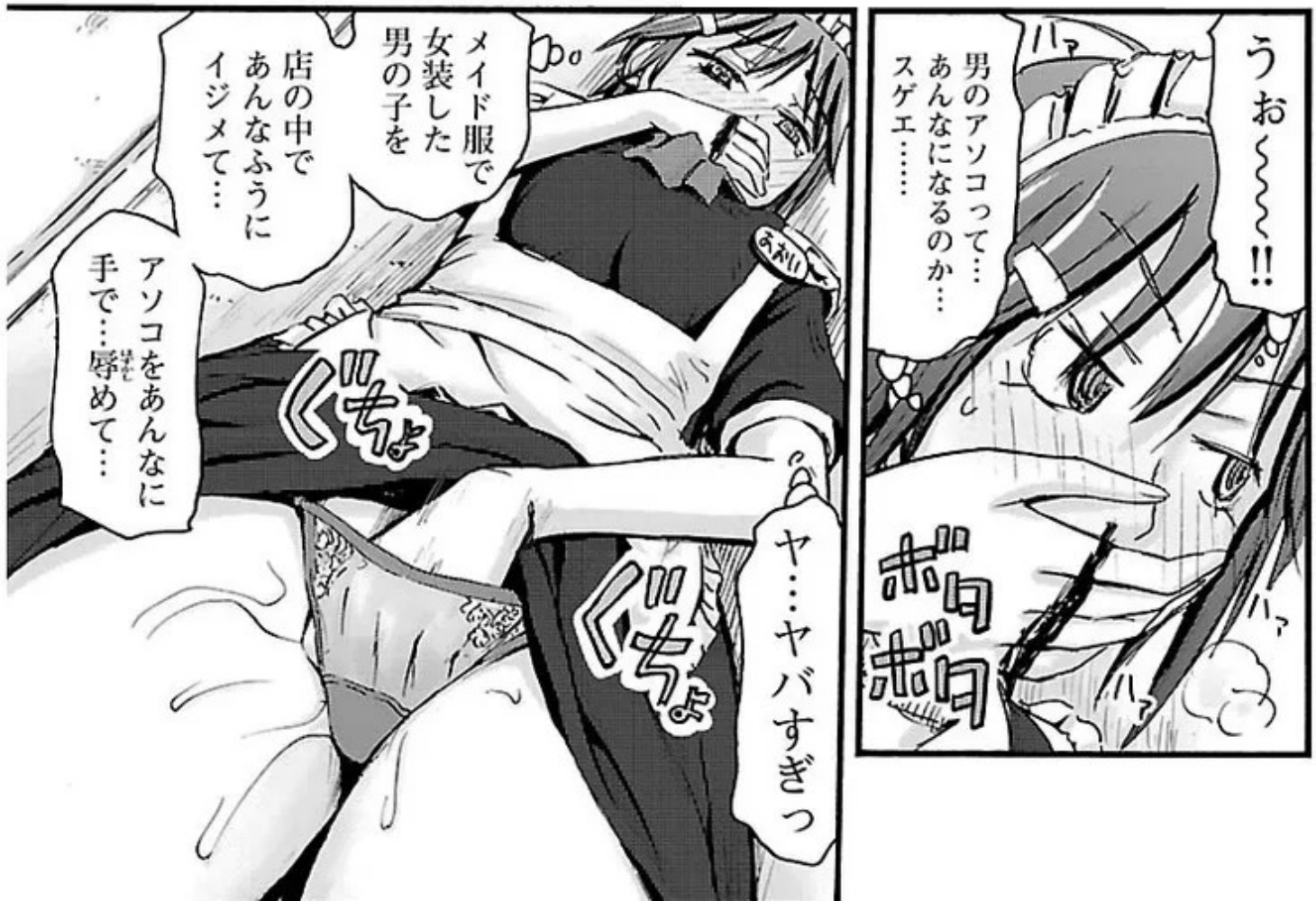
スイ…？
ニヤ
あ でも
そうですね
そういわれると
少し顔色
悪いような…

ちょっと私 お兄サマを
裏に連れて行って
休ませてきます
あ うん お店は今
私達だけで大丈夫だから
無理しないでね

…なに？お兄サマ？
それに何か二人の様子変じゃなかった？
あの…私もちょっとお手洗いに
ハイ…私はホールに回ります
…あの二人…もしかして ただならぬ関係だったりして…
ガチャ
…てまさかね…
!?
ウ…ウソ!?
もぎゅ もぎゅ
ちょっ…何して…マジ!?
フフッどうしたんですか？お兄サマ
ブホッ
アソコ…ビクビクして…何か…汁が出てますよ
もしかしてイキたいんですか？
コクコク
くりくり

でもダメです
え？
イキたいのなら まず自分で
スカートめくって下さい
で そのままメイドっぽく
イカせて とおねだりして下さい
え…ヤ
ヤダよ…
ピク
ピク
イキたくないなら
別にいいですけど
お…
はぁ
はぁ
お願いします…ご主人様……
ボ…ボクを
最後まで…
イカせて…
下…さい…
ちょ ま…なんですとー!?
ご主人様――!?
だらっ
だらっ
ハイ
あう
しゅ
しゅ
上手におねだり
できました
んぐっ
ぐぐっ

お兄サマ ココ…
こんなにハミ出させて…
さわ
さわ
まったく
とんだ
淫乱メイドです
しゅ
しゅ
うんっ
だって…
そんな…
ダメですよ 大きな
声出しちゃ
うぐっ
スイ…
ズボ
ビクビク
う…
ついつい
もっとイジメたく
なっちゃいました
おねだりしてる
お兄サマ
かわいかったです
アキ
ぐり
ぐり
そ…
そんな…

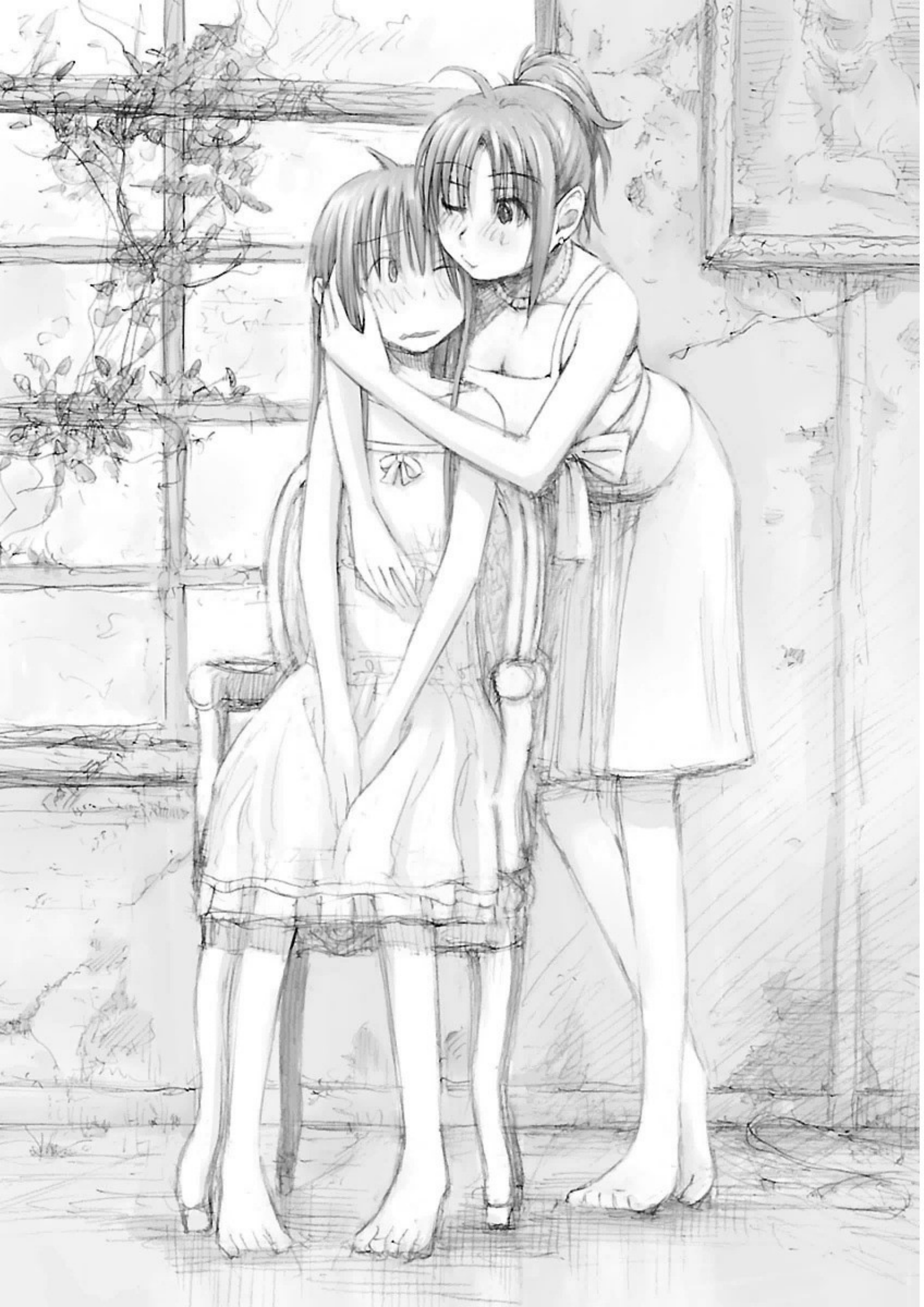

うお～～～!!
男のアソコって…
あんなになるのか…
スゲエ……
ハァ
ハァ
ボタ
ボタ
メイド服で
女装した
男の子を
店の中で
あんなふうに
イジメて…
アソコをあんなに
手で…辱めて…
ヤ…ヤバすぎっ
おおい
ぐちょ
ぐちょ

スイ やめっ…
いいんですか？本当にやめちゃいますよ？
んちゅ
う…や…やめないで…
レニレニ
あ あたし…
フッ
おおい
ハァ
フッ
仕事中なのに…こんな…誰かに見られたら…
くちゅ
くちゅ
あ
ダメッ
んっ
すごっ
止まんないっ…
しゅ
しゅ
しゅ
ビチョ
グチョ
ん…スイ…オレ…も…
ピク
ピク
いいですよお兄サマ
思い切り出して下さい
ハァ…ハァ私も…もう…
ぐぽっ
ぐぽっ

イク!!
ビクン
はあ!
ビクン
んあああああ!!
ビクン
あッ
どぷっ
ハァ
ハァ
ハァ
ぎる、
ハァ
ハァ
ぺたん
ハァ
クスッ

大変です
お兄サマ
誰かに
見られて
しまいました
え!?
どきん
バレてる
〜〜〜!?
なんてウソです
ビックリしましたか？
おおい
お…お前…
驚かすなよ…

その頃
店内では——
ガヤガヤ
ちょっと
待ってろ
コノヤロ
——!!
ツンデレ
キター!!
センパイ
スイちゃ〜ん
まだ〜〜〜？
レイ



シャー
ふーふ
ふーふ
ふーん
第11話
ニガシャーン
ビリ〜
きゃ!?
な…なに…?
ヒラ
ヒラ
なんだ…風で花瓶が倒れただけか……
もう…誰が窓を開けっぱなしに…
ギリ
ギャあああああ
ストップ ストップ!!
なんて番組見てんだよ!
ドンドン
あ ごめん レイちゃん こういうの 苦手だったよね

まったく
お化けだなんて
非科学的なもの
いるわけ
ないってのに
バカバカしい！
…だったら怖がる
必要ないんじゃ…？
ところでレイちゃん
さっきから何してるの？
え？
ああ
お気に入りのブラジャー
どっか行っちゃってさー

もしかしてこの部屋に
イタズラ好きな妖精さん
でもいるんじゃない？
私の下着もどっか
いっちゃったけど
しばらくしたら
戻ってきたし…
やめろよ
そんなのいるわけ
ないだろ！
え？ でも
想像したら
面白くない？
だいたい鹿島の
下着は……

…まてよ？
そういや松田が
来てからだよな
見なくなったの…
まさか
アイツが
オレの
ブラを…？
でも鹿島のなら
ともかく…オレの
なんか……

誰？
なんだ 花瓶か…
パリ
ポリ
ガサ
ゴソ
オマエモ アンドロイド二 シテヤロウカ〜〜〜〜
カタ カタ カタ
キャー!!

ス スイ!!
驚かせるなよ
お兄サマ こんなのも怖いんですか？
ちなみに彼はアンディー君です
どきどきどきどき
お前 そんな特技もあったのか…
アンドロイドですから
ボイスチェンジャー機能ッテヤツダゼ

くっそー お前も何か一つくらい苦手なものとかねーのかよ

苦手なものですか…うーん……

まんじゅ…いえおにぎりが恐いです

落語かよ

お兄ちゃんでんわだよ

お兄ちゃんでんわだよ

ゲッ!!

観音寺!!

ハイ…

おう お前 今家にいるのか?

え?

うん

んじゃ 今から お前ん家行くから 待ってろよ

え!? なんで!? ちょ それは困る…

……切れてる!?

ヨォ ドウシタ

大変だ! 観音寺が今からウチに来るって!!

ヘー向こうから来るなんて珍しいですね

お前 マタ何カヤラカシタンジャネェカ?

え? やっぱりそう思う!?

う――ん
一体何を
やっちまった
んだ？ オレ
ヒラ
ヒラ
なんでしょう
ね～～～～

!? それ
観音寺の
ブラジャー!?
隠して
おいたのに…
って それだ
――!!
ですねー
あいかわらずデカイですね

ピーポー
わ 本当に
来た
いいかスイ ちゃんと
ブラ持って隠れてろよ
出て来るなよ
わかりました
お笑いのお約束の
アレですね

バ バカ マジだよ
ブラのこと観音寺に
バレたら殺され
ちゃうだろぉー？
後でなんでも
言うこと聞くからさ
本当頼むよ
はあ…
仕方ない
ですねぇ

うひゃ～～～～
危ねぇ危ねぇ イキナリ
雨降ってきやがってさ――
サー――
パタ
パタ

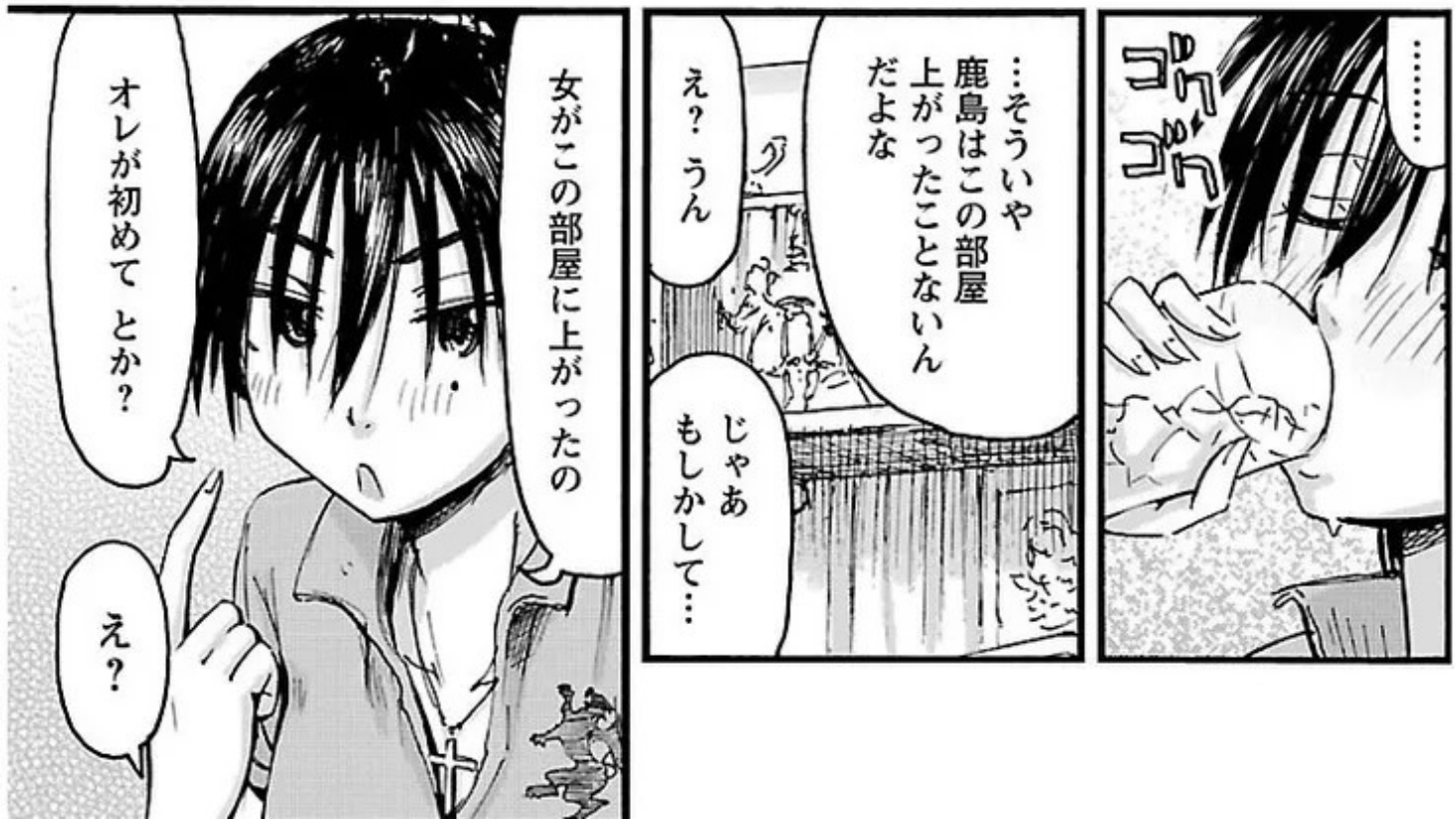
んじゃ
おじゃましまーす
どか
どか
えあ
ちょっと…
うわ…オタク全開の
部屋だな——
わあああ〜〜〜!!

ちょ 勝手に
机の引き出し
開けないでよ
ふふーん 何か
見られて困る
モノでも
入ってるのか?
べ 別に
そういうこと
じゃなくて
プライバシーだよ
プライバシー
…怪しい…
やっぱコイツが
オレのブラ
持っていったんじゃ…

あ!!
そこには
エロ本が…
じゃ
大丈夫だな
ま…まあ…男なら
当たり前だよな…
だよな
——
パタン

…ヤ ヤバイ…
よく考えたら
今…オレ…
男の部屋で
二人きり…
どき
どき
どき
観音寺…
やっぱりブラを
探しに来たのかな…

あーその…
ノドが乾いたな
何か飲み物
くれよ
あ
そうだね
どか
って アレ?
もう用意してある
じゃん
お前…
いつのまに…
しかも3つ…?
え!? あ…うん…


……
ゴクゴク
…そういや
鹿島はこの部屋
上がったことないん
だよな
え? うん
じゃあ
もしかして…
女がこの部屋に上がったの
オレが初めて とか?
え?

わっ!!
え!?

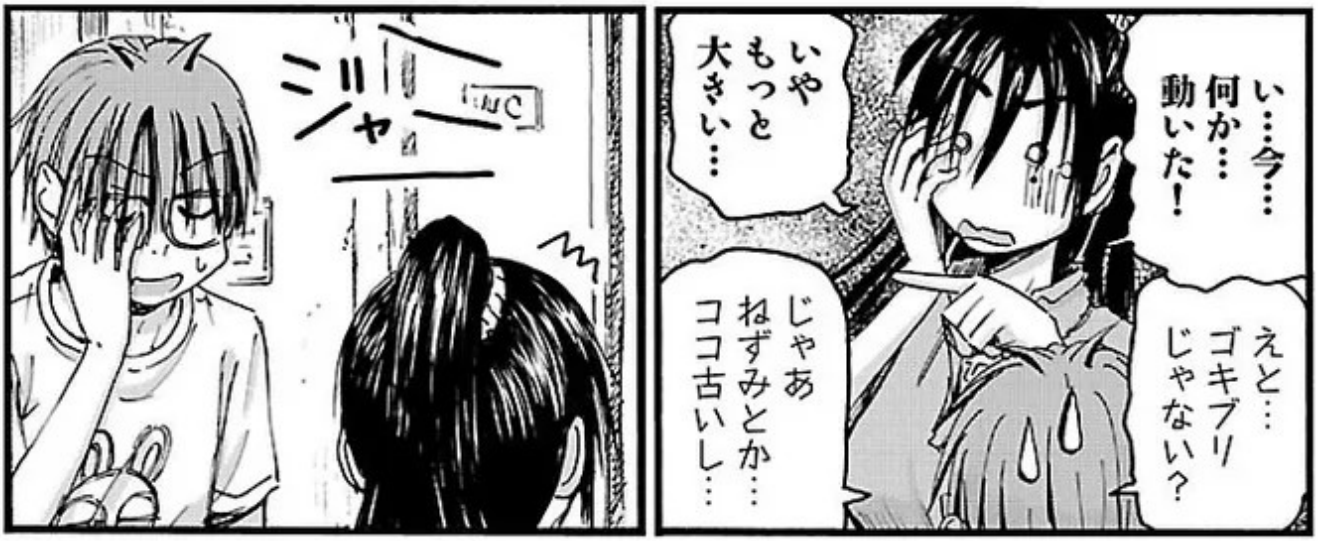
な なんだよ! もしかして
他に誰か女が来たのか!?
え!? あうん
姉ちゃんが…

そういや 姉ちゃん
いるんだっけ…
ブラ
ブラ
あ…うん…
わっ!!

な なんだよ…
何か
ある
のか?
トタン

ま まさか…
……
そこには
何もないよ
GINGERALE

あ！
きゃっ!?
え？
きゃ？


い…今…
何か…
動いた！
えと…
ゴキブリ
じゃない？
いや
もっと
大きい…
じゃあ
ねずみとか…
ココ古いし…
ジャ

今…トイレから
水の音が…
ホ ホラ！ 外の
雨の音だよ！
ザア
ゴロゴロ
あれ？ カミナリ…？
きゃあ！

い…今…
天井から物音が…
え…と…上の住人じゃないのかな？

ウソつけ！ここ二階建ての二階だろ！
お前からかってんのか!?

ま…まさか…
ていうか…観音寺って…幽霊とか恐いの…？
ギク

ま まさかそんなわけねぇーだろ！
このオレがそんな非科学的なものを…
恐いんだ……

カク カク
しゅぽ
オマエモアンドロイド二シテヤロウカ～

ぎゃ～～～～
人形がもやべった～!!

ぐす

オレ帰る！

ダッ

え？あ…

ザァアアアア

ちょ…

観音寺！

傘くらい持っていって

ザッ

ズザザザザザ

あ

ポタ

ポタ

ポタ

もぉ ヤダ〜〜〜
ぺたこん
サイアク〜〜〜
びしょ
びしょ
ぐしょ
…ホラ とりあえず おフロ入れたから あったまりなよ
あとこれ 着替え オレのシャツだけど…
うん……
…お前… のぞくなよ
のぞいたら 殺すぞ
のぞかないよぉ
ちゃぷ
はぁ
ザパァ
プカリ
ピチョン
ピチャン
ピチャ
……

ふーん
松田
まっだぁ…
ん？ もう
上がったの？
ゴー
うわっ!!
!!
ごめんなさい
ババカ… こっち
見んな！
いいからちょっと
おフロ入ってる間
側にいろ!!
え!?
いいから…って！
こっちは見んな！
メガネ外せ!!
うん…

ニヤニヤ
ゴシゴシ
…たく お前が驚かせるからこんなことに…
面白かったもので…つい…
ひそひそ
松田？誰か女の声が……
え？TVだよ
あんまり離れるなよな
うん
こうしてしおらしくしてると観音寺ってかわいいんだな…
おっぱいもデカいし…
チラ

ピト
ゴロゴロ
スイ!?
ビクビク

ゴロゴロ
あれ？ カミナリ
さっきより近いな…

わ…
なんだ!! 停電!?
何も見えない

ど…
え？

…もしかしてお前…
カミナリ恐いのか？
そ そんなわけ
ないじゃないですか

ただ私はお兄サマの
コレを…鎮めて
さし上げようかと
ピタ
ズリ…
え？
さわっ
ピカ…

ドーン
きゃあ！
わっ
ビリ
ぎゃああ!!
カミナリ
ビリ
おんぶけ！
ビリ
松田！今女の悲鳴が…！
そ それは自分の声が響いただけだって…
あた
ふた
で…でも…
おにゅ
わっ！
あ！
ひだらん
だ大丈夫か!?
んっ！
もにゅ

ごごめん
今どくから…
ピン
ピン
わ…手が…
泡でスベって…
にゅるん
ちょ…スイ…離れられ
ないから…早くどいて…
ゴロ
ゴロ
ビク
ビク
んきゃ
…コイツ…本当に
雷恐いんだな…
ままつだあ
今また
女の声が…
どこだ!?
とととにかく
声だけでも
出すなよ
松田！いた！
バカ!!
離れんなよ！
うわっ
にゅぷん
ん…コラ…松田
何やって…
ぱふ
ちが…だって…
観音寺が…
あっ
バカ…んっ!?
ぬちゅ
ヤメ…んっ
どこ
触って…
あ…

うぐ…これはマズイ…
前は観音寺の巨大なおっぱいのやわらかい感触が…
背中はスイの…スク水の感触が…
しかも…二人とも石けんの泡でぬるぬるして…
気持ち…いい!!
はぁ
はぁ
はぁ
ぬちゃ
ぬちょ
ぐちゃ

ま 松田…今度はお腹のあたりに熱くて硬い何かが…
……
…って 松田 お前 こんな時に何考えてんだ!
し 仕方ないだろ こんな状況で男なら
それに観音寺のおっぱいだって…硬くなってるじゃないか
あ
バ バカを言うな!
それは鳥肌みたいなもんで決して気持ちいいわけじゃ

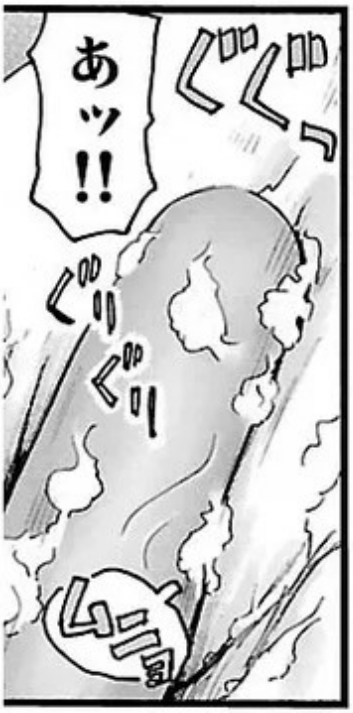
あ！
すりるん
スイ
GE
んんっ
ビクッ

つく…コレ…
気持ち
いい…
このままじゃ
…マズイ…
なんとか
しないと…
う…
にゅるん
にゅるん

スイ…
とりあえず
一度…
どいて
……
ゴロゴロ
ビク
ビクッ

ん
ぐにゅ
ぐちっ
ふあっ
あ…ごめ…
ビク
ビク

ま まつだ バカぁ
離れるなよ～～～
わっ
ぐぐぐ

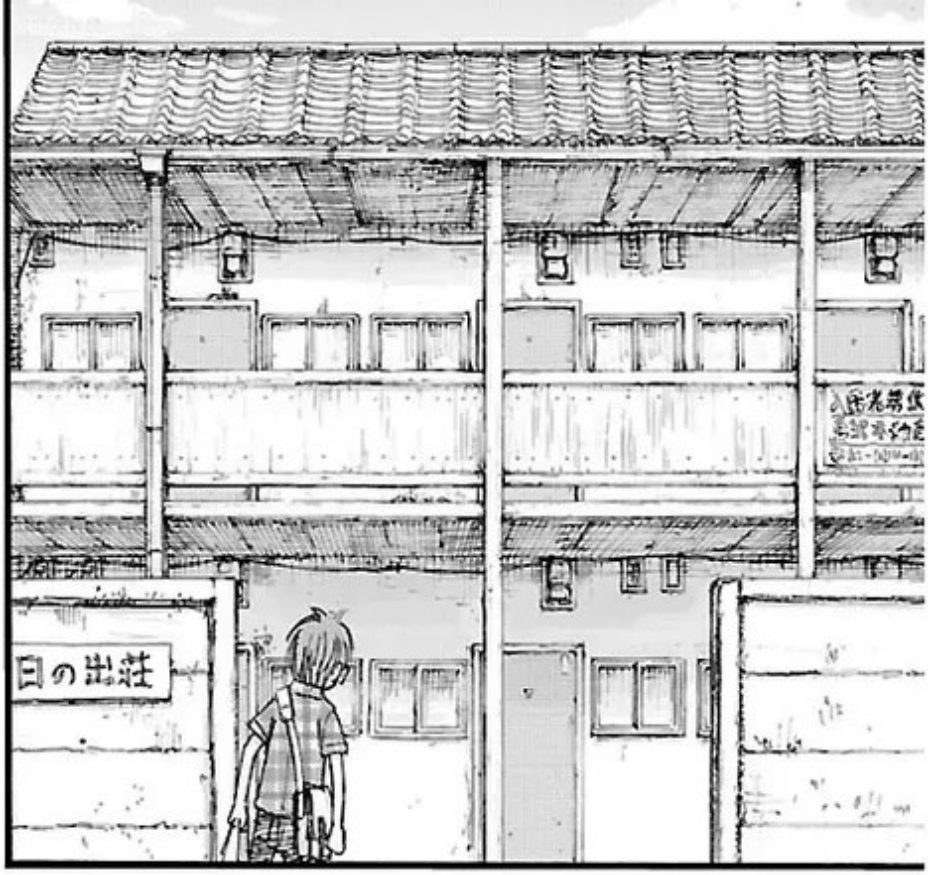

あッ!!
ぐぐぐ
ぐぐぐ
ムニュ

ちょ…観音寺…放して…
でも…このままじゃ余計にヤバイ…
んくっ
ずちゅ
…こ こら松田…動くと…
アソコが…こすれて…んんっ
ぐぢゅ
ぐぽっ
ダメだ…そんなに動いたら…あ…
まっだ…バカ動くな…ん…
松田の…硬いのが…私のアソコに…
ん
入っちゃう…あ 熱い…
あ
ズリュ
ビク
ビク
ニュル
オレもダメだ… 出る…
あ！
ビュ

ビクン
ビク
ビク
ビク
どぷっ
あッー イクッ!!
ドクン
あッ!! あああッ
ハァ
ハァ
ハァ
くーくー
ムクリ
あれ？
オレ…いつのまに寝て…
…そっか おフロで…
くすっ
……松田のシャツ…
って ヤバ もう帰らないと …門限が…
ガサ
えと…ブラは… どこに…あった！
ゴソ

って…アレ？
……
……
…てことはやっぱコイツが犯人…！
ピンポーン
ん？手紙…？
あれ？観音寺帰ったのか？
GINGERALE
この礼は後日。観音寺
え!?礼って…？
どろ?
ゲ…ブラ!?
てことはお礼参りってこと!?
そうかもですね
GINGERALE

第12話


日の出荘

今日は暑いなー
ガチャ
ガチャ

下の階の人だよな…
こ
こんにちは――
ビクッ

…犯罪者とかじゃないですよね
ガチャ
バタン
ヴィ

ハア
ハア
ハア
ガコン

危ねえ危ねえ
アイツは上の階の住人……
チャ
ヴィ

私はダマされないからな…あんな冴えない顔して…
いろんな女をとっかえひっかえ…
ギシ
ギシ
んっ
あっ
また今日も…

あんな
ヤリチンヤローに
私みたいな
美人が
下に住んでる
なんてバレたら…
一体…何を
されるか…
ファサ

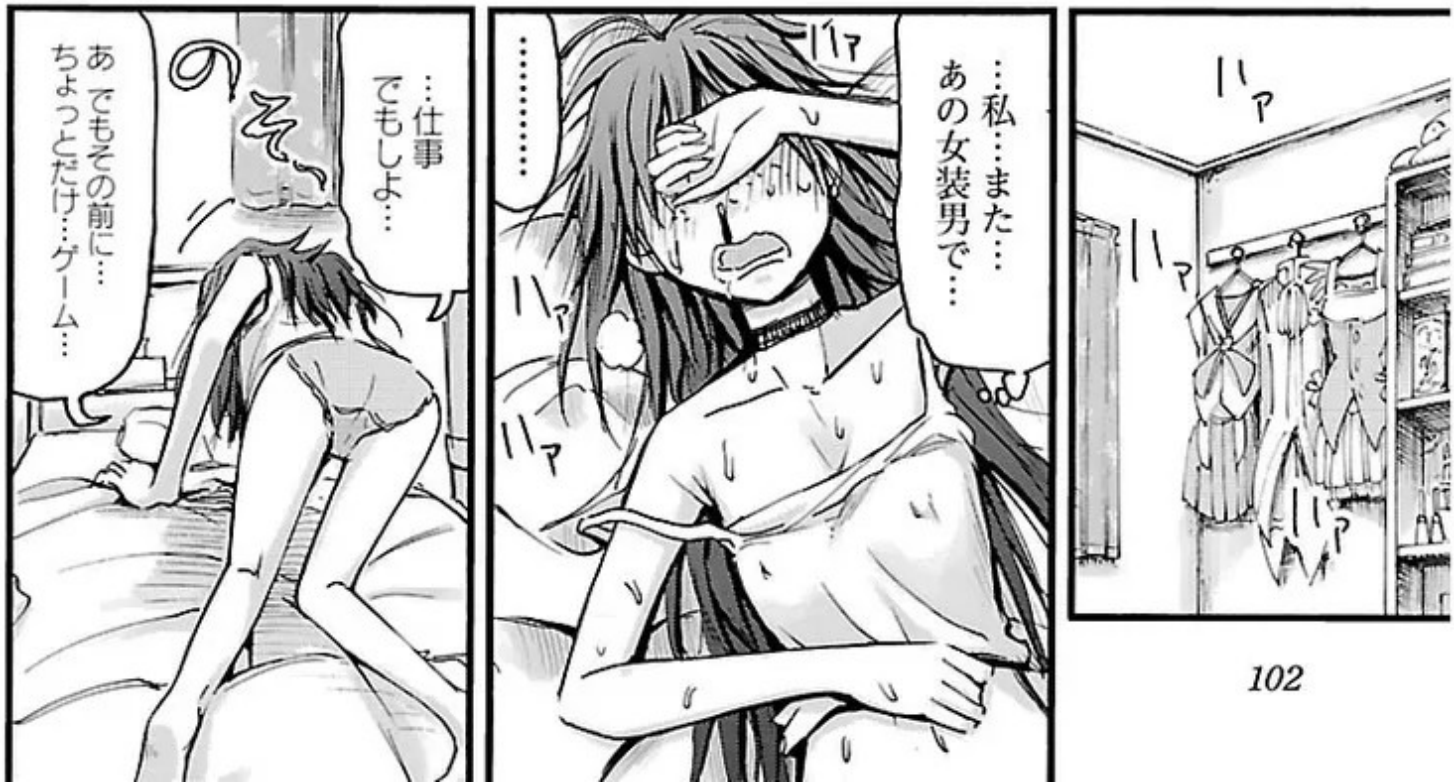
…一体どんなこと
されるんだろう…
……

ビクッ

この前バイト先で
見た…女装ヤローの
アレ…
すごかったな…
あんなモノが…
私の…中に…

いにいに
もぞもぞ

やっぱり…男の人のアレ…気持ちいいのかな…
ん
ピク
ハッ
どんな感じ…なんだろう…
あッ
ふッ
クチクチュ
ンぁ！
ビクン
イクッ
クイ…
んんっ
ビク
んんんんっ!!


…私…また…あの女装男で…
……
…仕事でもしよ…
あ でもその前に…ちょっとだけ…ゲーム…

チャラララ〜♪
はぁ
ヤッ
よし！
今だ！
シオ：サ
結奈：バクダン
アオイ：よろー
セシル：オッケー
ドカーン
やった！
セシル：ナイ
アオイ：買いく
結奈：お願い
アオイ：設置
お兄サマ 今日は ネットゲームですか
しかもゲームの中でも 女の子してるんですね
べ 別に女装する前から このゲームしてたし
もしかして お兄サマ 昔から女装願望 あったんじゃ…
え…？
べ 別にねぇし！
ゲームで自分好みの 妹キャラ作ってる だけだし！
何 動揺 してるんですか
プ
よっしゃ
チチャチャチ
クエスト 完了〜
アオイ：おっー
シオ：やったーく
結奈：お疲れ様
何してるんですか？
カチャ カチャ
チーム メイトと チャット
あ！

いや…このチーム
本当はリアル女子
限定なんだよね…
だからいつも何とか
断ってきたんだけど
いい加減マズイかも…
ピン

また…
オフ会の
お誘いが…
別に参加
したらいいじゃ
ないですか
チームルーム

そうだ！スイ！
オレの代わりに
参加してきてよ！
別にいいですけど
つん

やった！決まり！
参加しますっと…
でも
カタ カタ カタ

いいんですか？私で
どうなっても知りませんよ？
ニヤリ
確かに…!!
スゲー不安！

うおー
どーしよー
いつも通り
女装すればいい
じゃないですか
ひみつどーぐ
ばこ

くまのぬいぐるみスピーカー
あーんど ボイスチェンジャー機能～
おお 結奈ちゃんのアニメ声が！

そんなの声ですぐバレちゃうだろぉ～～～
フッフッフ…安心して下さいお兄サマ
ガサゴソ
ひみつどーぐばこ

お兄サマは結奈ちゃんになりきって このぬいぐるみを持って口パクして下さい
私が状況に合わせて声をあてますから
おーこれならいけるかも！

……とは言ったものの…
スイの奴…本当に大丈夫かな…

本日のご予約
チーム
オルレアン
様

レストラン

スイは近くにいるって
言ってたけど…どこに…？
あ！ あれはカラオケの時
スイが着てた着ぐるみ！
てことは あの中に
スイが…？
皆さん
お待たせしました
ではMPOのチーム
「オルレアン」のオフ会を
始めたいと思います
まずは自己紹介ということで現在
チームリーダーをさせてもらってます
アオイです よろしく
ゲ!!
この人は!?

こないだのメイド喫茶の時の変なセンパイ！
ガタ
ブシュ〜
まさか同じ人だったとは……
チームリーダーのアオイさん！
今日は
FFのコスで
キャー!!
アオイさん
ステキー
言われりゃ確かに名前一緒だけど…
もっと美人でカッコイイ人想像してたのに…リアルは残酷だぜ
人のコト言えないケド…
…ていうか前に女装見られてるし…ヤバイんじゃ…
じゃ こちらから順に自己紹介を
え…!? オレ？
ガタ
スイ…うまくやってくれよ
ハイ
わ しゃべった
皆さん 初めまして結奈(ゆいな)です
お いいぞ
軽くコスプレということで「11人！ 妹がいる」の結奈ちゃんから名前をもらっているので
結奈ちゃんっぽくしてみました
よろしくお願いします
パチ
パチ
パチ
じゃあ 次は——

ぽ～ん
ガヤガヤ
もぐもぐ
はぁ…挨拶は無事済んだけど…
どうしよう…自分から話しかけられないし…
結奈ちゃんそのぬいぐるみかわいいね
ガヨ
うわ アオイさん！
あ ハイ ありがとうございます～～～
結奈ちゃんって漫画の専門学校通ってるんだよね
なんていう所に通っているの？
あ 高田の日本アニメマンガ専門学校です

え!? ホントに!? 実は私も同じ学校の卒業生なんだ!
え── そう なんですか!?
まー バイトの時に 聞いて知ってましたケド

まー一応 商業誌で プロデビューしたんだけど なかなか…
だからバイトと かけもちなんだけど
あのバイトって もしかしてメイド喫茶 アリスじゃないですか?

わ バカ スイ! 何 思い出させる ようなことを…
え? なんで 知って…
ん!? もしかして…

あ! お客さんで アリスに来たとか?
ハイ── そうなんです メイド姿 素敵 でしたあ──

すごいアオイさん メイド喫茶アリスで 働いているなんて── この前ネットで カワイイ娘ばかり だって噂になって ました!
え そうなの?
やっぱアオイさん モテモテ なんですね!

カフェレストラン ノア
おつかれ様でしたー
またオンでー
さよならー

ま まあね 男なんて チョロイものよ
ウインク ひとつで 即オチよ！
さっすが アオイさん！
勉強になります
うわぁ
本当は男 苦手なのに… 残念な人だ なぁ…

ホ…… なんとか無事 クエスト完了
あ 結奈ちゃんも 近所なんだよね 一緒に帰ろうか

キョロキョロ
あハイ
ゲ！ アオイさん…！
つかヤバ… 声… スイは…？

てくてく
いた！

いやー結奈ちゃん カラオケうまいん だねービックリ したよ——
…オレも
ひたひた
そうですかー ありがとう ございます
ホント 本物 ソックリ

実は本当に結奈ちゃんの声優さんだったりして
ドキン
え!?

ヤダなー そんなわけないじゃないですかー
…確かにスイ＝雪菜ちゃん＝結奈ちゃんてことも…
どきどき

アオイさんこそ歌も上手で漫画家さんで
わ…バカまた勝手に…!
メイド喫茶の人気者で男にモテモテな経験豊富な大人の女性で
私…憧れちゃいます
そ…そう?

あの…私これから…アオイさんのこと お姉サマとお慕いしてもよろしいですか?
コラ…何を言って…
えと…別にかまわないけど?

トン
わっ!!

嬉しい…
お姉サマ…
お姉サマか……
なんかいい響き…

ごごめんなさい…
やっぱり私なんかじゃダメですよね
いや…そんなこと
結奈ちゃんも素敵よ…

ギロ
ニヤニヤ
って…スイ…お前何がしたいんだよ…

いえ…お姉サマは…私の本当のこと…知らないから…
え…スイ…
何を言うつもり…？
実は私…人には言えないことがあるんです…
え 何？ 悩み事…？
私でよければ相談にのるけど…？
え？ 本当ですか？じゃあ…恥ずかしいので…少しお耳を…

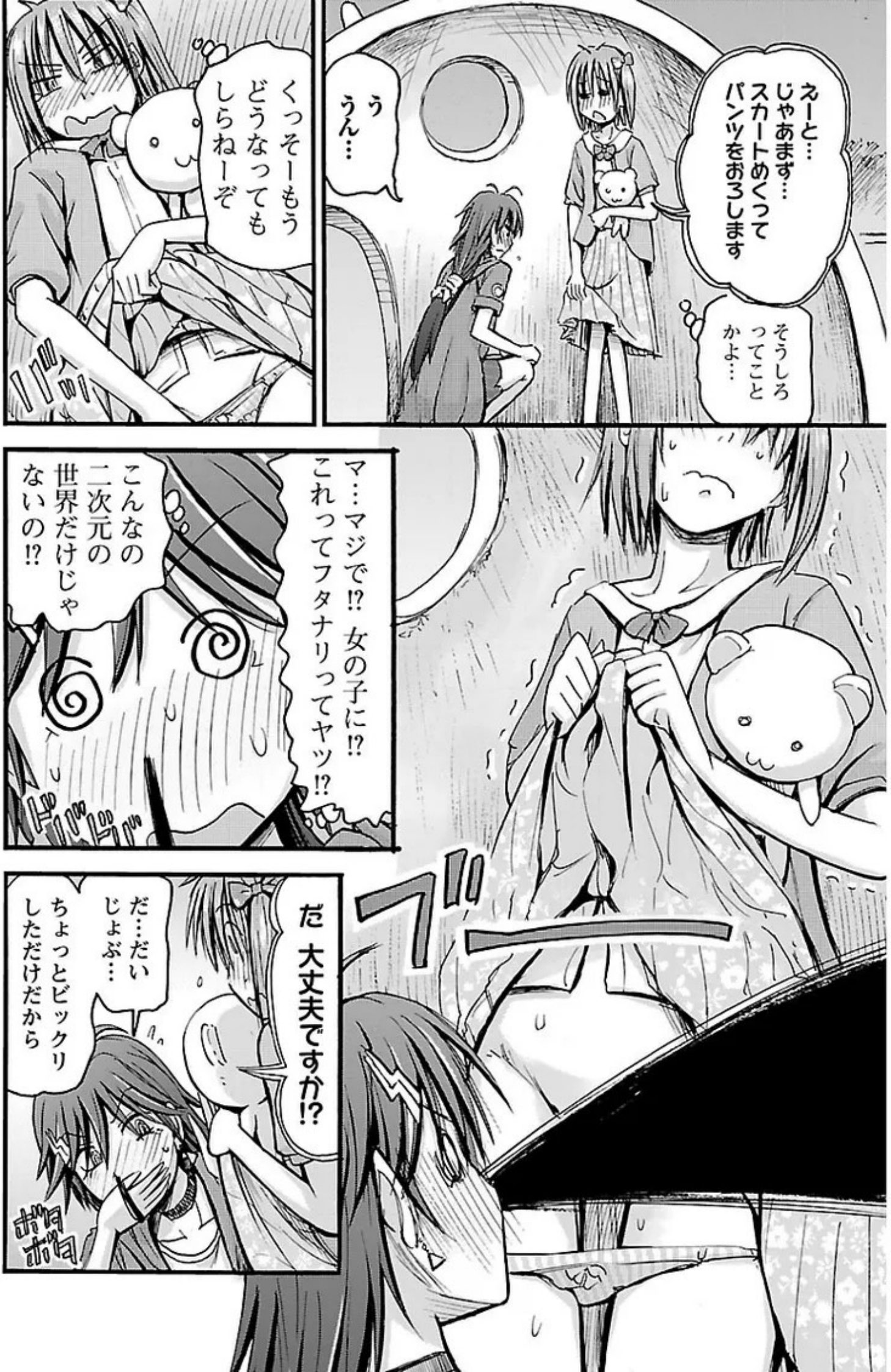
実は私……
アソコにおちんちん
みたいなモノが
生えてきちゃったんです

ハァ!?
え!!
どら〜

バ…バカ！スイ
何アホなこと
言ってんだよ！
あの 私…男の人の
本物…見たことがないので
…わからないんですが…

男性経験豊富な
お姉サマなら何か
わかるんじゃないかと…
えー!? マジで!?
そんなことあんの!?
も
もちろん！
どくどく

えと…じゃあ とりあえず
見てもらっていい
ですか？
マジかよ…
えーと じゃあ…あの公園の
スベリ台の下で…



ネーと…
じゃあまず…
スカートめくって
パンツをおろします

そうしろ
ってこと
かよ…

う
うん…

くっそーもう
どうなっても
しらねーぞ

ブーー

マ…マジで!? 女の子に!?
これってフタナリってヤツ!?

こんなの
二次元の
世界だけじゃ
ないの!?

だ 大丈夫ですか!?

だ…だい
じょぶ…
ちょっとビックリ
しただけだから

でもこれは…どう見ても…いや…でもこの前見たのより少し小さいような…
オレは一体何をやって…
ムクムク
…ってナニ!!
どんどん大きくなって…きた…

ご ごめんなさい…お姉サマに見つめられて触られたら…
でも経験豊富なお姉サマなら…
バ…バカスイ…

こうなったら一度出さないと収まりつかないことご存知ですよね
え!? もちろん
ってコレ私が――!!
ああ…自分じゃどうしようもない…

やっぱり最初はそのまま手で
しゅこ
やさしくシゴいたり
そ そうね
こ…こう かな…?
しゅこ

それから もう片方の手で先っぽいじったり…
うん
少し舐めてみたり…
え!?

ヤ…ヤバイ…
気持ちいい…
声…出ちゃいそう…
じゅぽ
じゅぽ
ん
……
んっ

コレを舐めるの…？
それで奥まで
くわえたりとか…
ペロ
ペロ

ビク
うぐ…ヤバッ
イキそ……
ん…
ポロ

そうです
さすが お姉サマ
口の中で…すごいビクビクして…熱い……
もしかして この娘なら
男が苦手な私でも…
ぐぽっ ぐぽっ

うあっ!!
ビク
えっ!?
男の声…!?

きゃっ!! 誰!?
あスイー
あなたはメイド喫茶の時の…!!

ヤ ヤバ！思わず声が…！
ま まさか…本物のオトコ!?
ブピュ

どうやらバレてしまったようですね
え!? ぬいぐるみから声が…!?

あー！ じゃ こっちはこないだの女装男!!
ピンポン 正解です アオイ お姉サマ
はんっ
声を出しちゃダメじゃないですか お兄サマ
もみっ

この前 私とお兄サマがHなことしていたののぞいてましたよね
だ… だから 何…
ピンポン
え!? マジで見られてたの!?
んくっ
くにゅ

なので いっそのこと
秘密を共有して
しまおうかと思いまして…
や…や…んっ…
ぐにゅ
ぐしょ
ぐしょ

私…知ってますよ
え?
お姉サマ あの時一人で
慰めてましたよね
ん…
それは
……
スリ
スリ

あーあ もう
ビチョビチョ
じゃない
ですか
ホラ お兄サマも
ボーッと
つったって
見てないで
ピクン
えっ!?

ちょっと
手伝って下さい
はぁ
え…
な…何を…!?

パンツの上から
コレでこすって
さしあげるとか…
うえっ!! 何!?
ヤ…ヤダ!
こすこす
んっ

男のアソコが…私の…ココに…
ずぶっ
あ
はあ
んっ
くぼっ
さわさわ
んっ…自分で…するのと…全然違う…

んあっ
すごい…本当にHしてるみたい
スコスコ

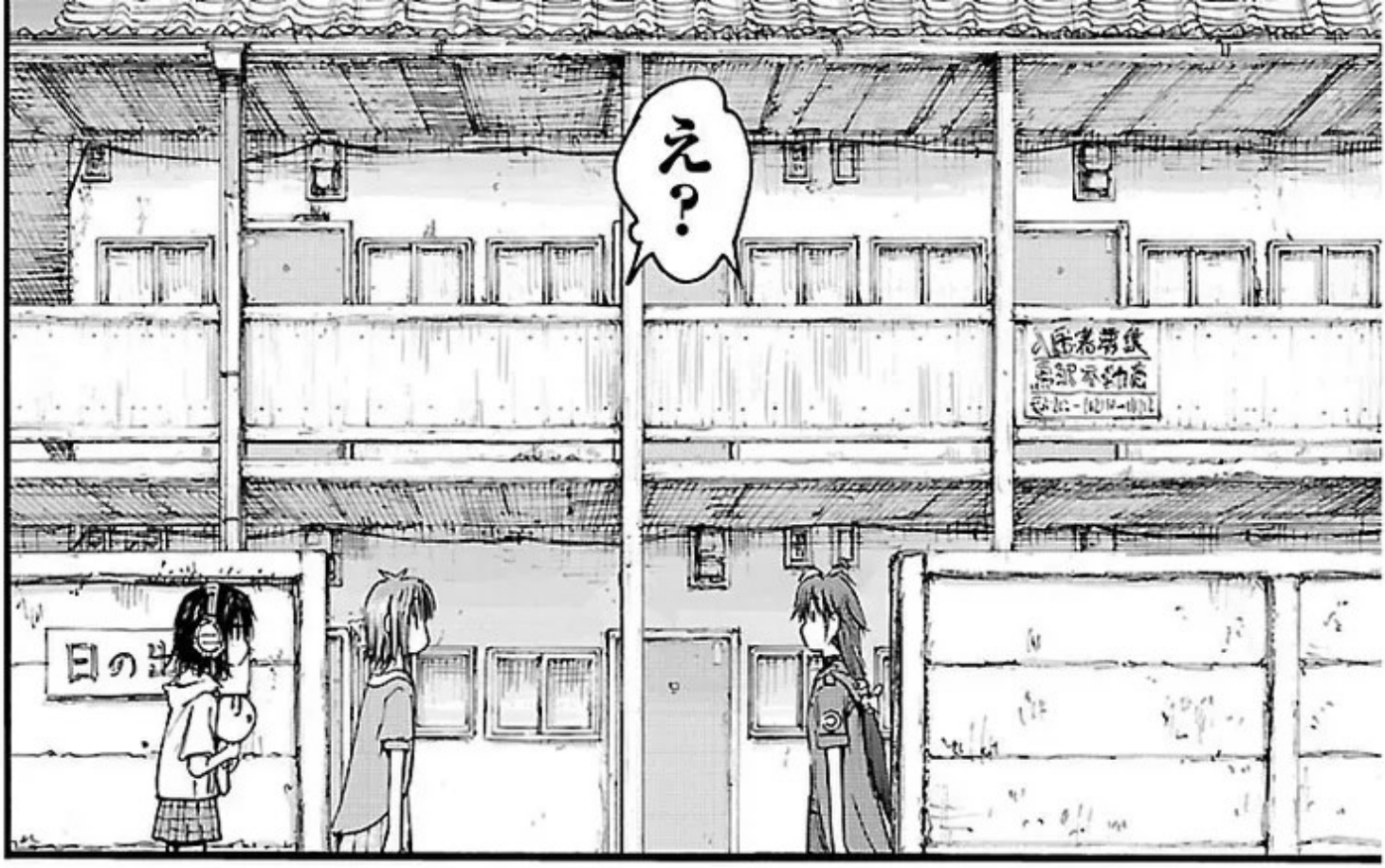
ダメッ…アソコこすれて…
ずぼっ
熱い…変になっちゃ…う
じゅぷっ

ダメッ
ビクンッ
んあっ
あッ
もみっ
ギュッ
んくっ
あッ
くちゅ
くちょ

…オレ…もうっ
んぁ…ダメッ
何か…出る出ちゃう…
ヤメ…ストップ
ぬぢっ
んぁ！
あッ
ぬぢゃ
出る！
んぁ
ビュルルッ
ビクッ
ビクッ
プシュ
プシッ
プシャアア
んあッ！あああ!!
ビクビク

ハァ
ハァ
ハァ
ハァ
あーあ
おもらししちゃい
ましたね——
くすっ
気持ち良かった
ですか…？
じょぼ
じょぼ

ハァ…まさか
男だったなんて…
ヒドイめにあった…
てくてく
さっさとシャワー
浴びて忘れよう…
ハァ——
本当…今日は
疲れた——
トボトボ


え？
日の出

お　お前ら…なんでここに…!?
お前…まさか…上の階のヤリチン!?
メイド!!
チン!
チン!
結衣!!
ヤリチン
チーン!

上の階って…
あ！
もしかして
下階の変人！
こそこそ

そ…そんな…
いやー ホント
世の中って案外
狭いですねえ
うんうん
ヤリチンって…
オレまだ
したことないのに…

第13話

アニメマンガ
専門学校
本アニメマンガ専門学校
何かお悩み
ですか？
ぽん
はぁ
スイちゃん!?
ぶい
オーディション
ですか？
ゲスト

うん 友達に誘われて
…このオーディションに
応募したんだけど…
なるほど 一次審査で
鹿島さんだけが
合格したと…
あ コレ
二次は水着審査
あるんですね
うん 友達はチャンスだし
がんばってねって応援して
くれるんだけど…
優アイドル
オーディション
大募集!!

私…もちろん
声優になりたい
けど…
でも…この
オーディションでデビュー
する声優さんって…
私の夢で思っていた
形と違ってる気がして…

あの それで声優の先輩
水城雪菜ちゃんとして
スイちゃんは
どう思う?
そうですね 確かに
難しい所ですね~
でも
せっかくなんですし…
カラン
カラン

まずは行動してみては
どうですか？
やらないで後悔するより
やって後悔した方がいいといいますよ
そっか…そうだよね…
でもやっぱり
水着は恥ずか
しいな…
友達は彼氏とかに見て
もらえば慣れるって
言ってたけど…

最初は
恥ずかしか・ただすけど…
そうですね…私も
いつの間にか
慣れましたね…
ズ…
え？
やっぱり雪菜(スイ)ちゃんも
人前に出るの恥ずか
しかったの!?
ゆ・きな～ん
何か
練習
でも？
って スイちゃん
もしかして
彼氏さん
いるの!?
あ…いえ 彼氏ではなく
お兄サマで練習を…
松田君……？

あ それなら私に
良い考えがあります！
まずは
水着を買いに
行きましょう！
私がチョイスしてあげます
え？
うん…
男性マガジン

いやー 今月の
声優マガジン
妹声優特集
だとは…
思わず衝動買い
しちゃったぜ
パラ
パラ
8
マガジン

早く帰って
熟読せねば!!
ガチャ
ただいまー

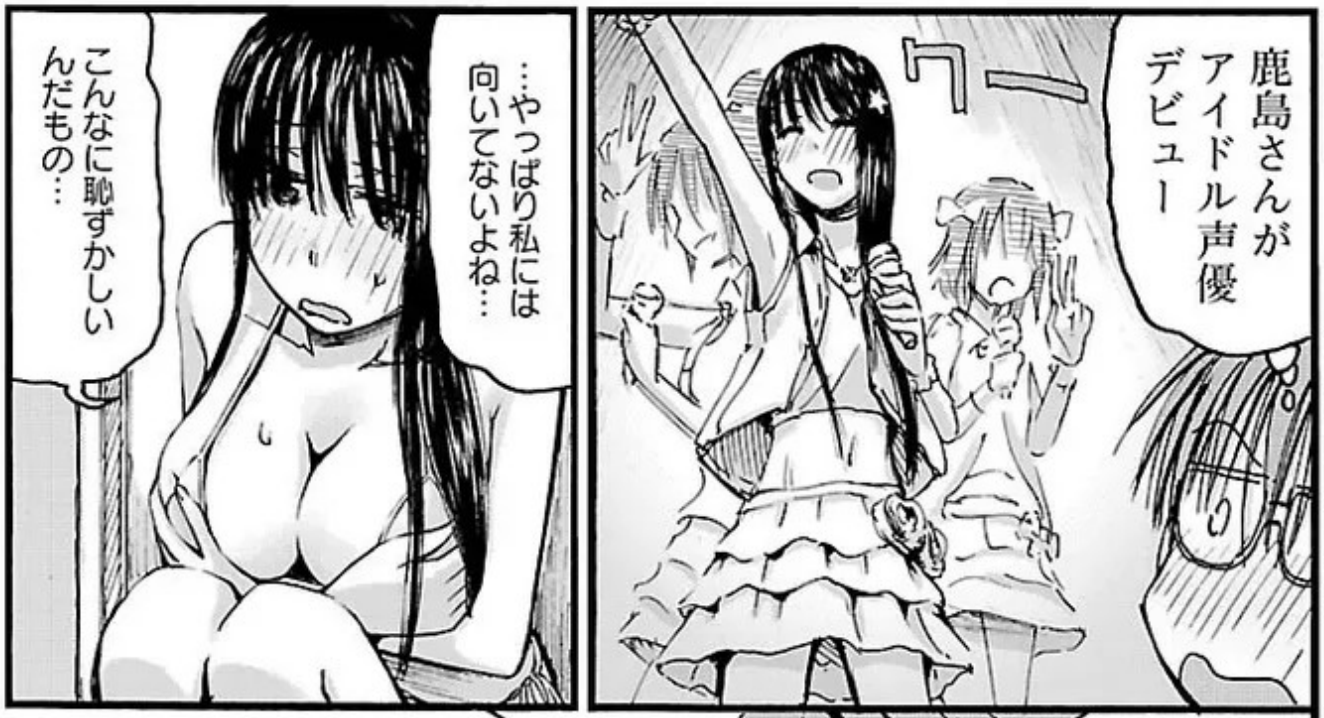
きゃあああ
スイ
あ
おかえりなさいませ
お兄サマ
え!? 鹿島さん!?
水着…? なんで!?

ええっ
オーディション?
水着審査!?

で お兄サマに
協力して頂いて
鹿島さんに水着に慣れて
もらおうというわけです

スイちゃん
やっぱりムリ~
だめですよ お兄サマ
ぐらいで恥ずかしがってたら
だってぇ~

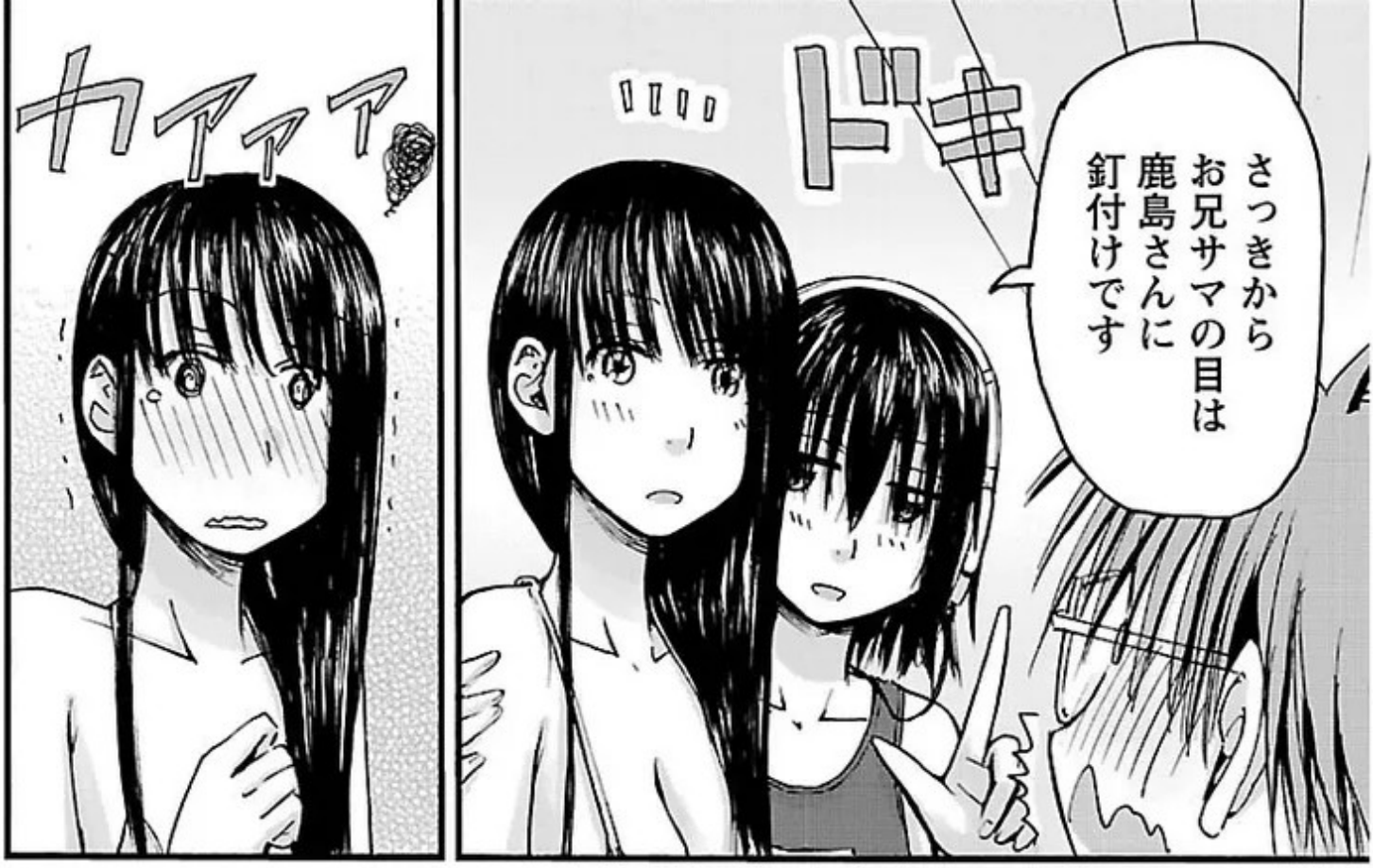
それってもしかして
この声優雑誌にも
載ってるコレ!!
新人声優
アイドルユニット
オーディション
…ハイ
コレですね
マジで!? 鹿島さん
この一次審査
受かったの!?
スゲーじゃん!!


鹿島さんが
アイドル声優
デビュー
…やっぱり私には
向いてないよね…
こんなに恥ずかしい
んだもの…

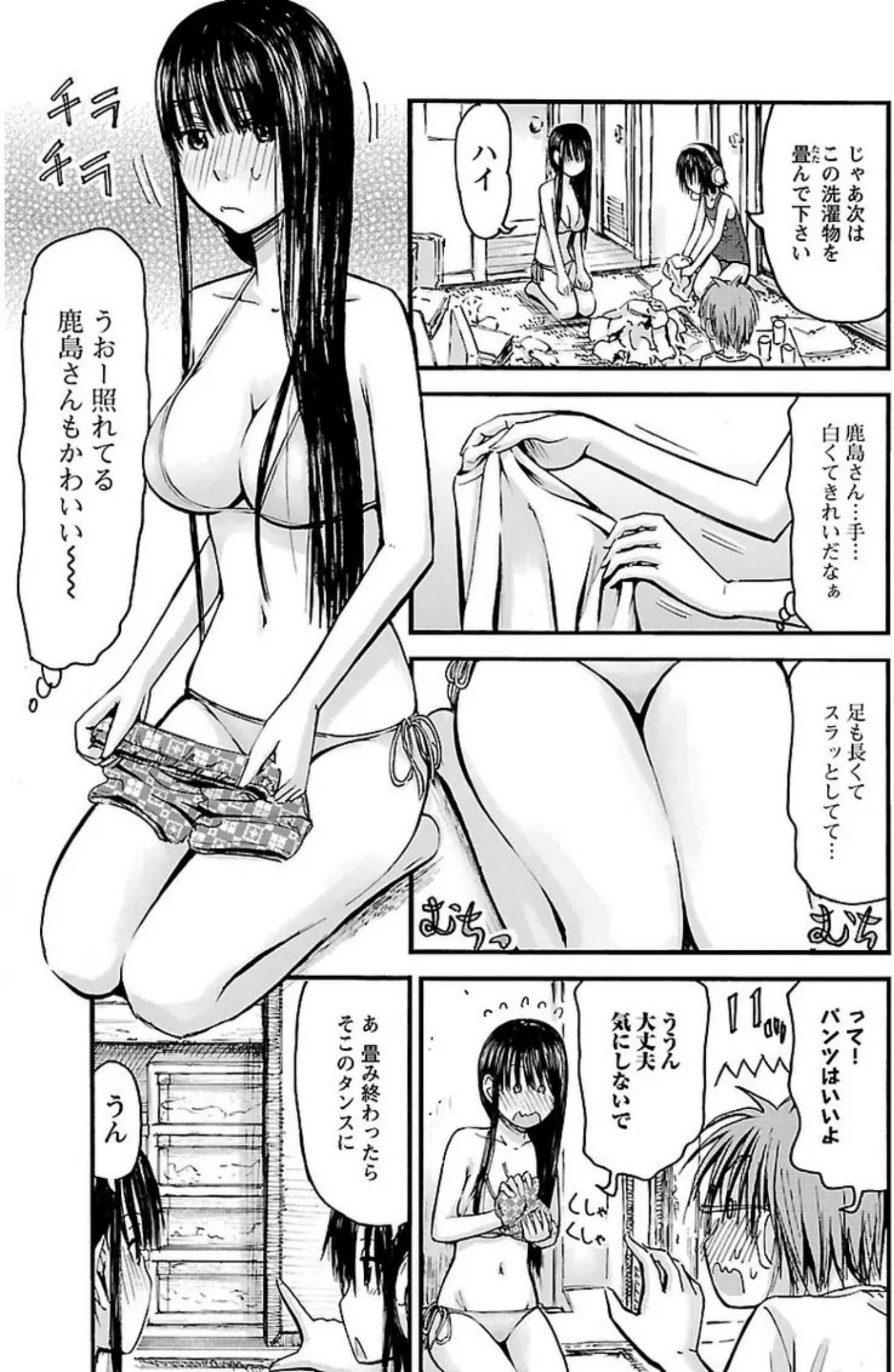
そんなことないよ!
鹿島さんかわいいし! 大丈夫!!
オレ応援するよ! がんばってね!!
え? あ うん…
ありがとう松田君…
私…がんばる…
では鹿島さん
一緒に家事でも
しましょうか
え!! なんで!?

ジッとしていると
水着を意識して
しまいますので
身体動かして気を
紛らわせるのです
そ…そうね
とりあえず
行動よね
スク
うおー鹿島さんが
オレのウチで
水音で
洗い物を…！
うお…
横乳…
おまけに
跳ねた水が
胸で弾けて…

それにしても鹿島さん 本当肌白くて…きれいですね…
そんなこと…スイちゃんだって…
ざらざら
スベ スベ
いえいえ 私と違って出るとこ出てますし…
きゃっ！
もみっ
おっぱいこんなに大きくて…やわらかくて…
スイちゃん…
おしりだって大きいし…
スイ
なのに腰はくびれてて…
ひゃう
まったくけしからんですね
もうスイちゃんからかわないで
からかってなんていませんよ
その証拠にホラ…


さっきから
お兄サマの目は
鹿島さんに
釘付けです
ドキ
ハアアア

ヤダ…松田君…
あんまり見つめないで…
ごごめん オレも
何か手伝おうか？
スイ
ダメです お兄サマは
見るのがお仕事です
これは見られるのに
慣れる為の訓練
なんですから〜
そ そっか…そうだよね…
え？
いいの？
俺は嬉しい
けど…
鹿島さん スイに
いいようにダマされて
いるだけなんじゃ？


じゃあ次は
この洗濯物を
畳んで下さい
ハイ
鹿島さん…手…
白くてきれいだなぁ
足も長くて
スラッとしてて…
むちっ
むち
つつ！
パンツはいいよ
ううん
大丈夫
気にしないで
くしゃ
くしゃ
あ 畳み終わったら
そこのタンスに
うん
チラ
チラ
うおー照れてる
鹿島さんもかわいい～～

ココね
ゴゴゴ
ぷりん♡

うおお
お尻に水着が
くい込んで…
アソコの形が
ハッキリと！
うあーもう今すぐ
コレをオカズに
シコりたい
ギン
ギン

いやー 今月の
声優マガジン
妹声優特集
だとは…
思わず衝動買い
しちゃったぜ
パラ
パラ
8
マガジン

早く帰って
熟読せねば!!
ガチャ
ただいまー

お兄サマ
掃除機かけたいので少しどいて下さい

あうん
ごめ…

…今立ったら
アソコ勃ってるのが
バレてしまう…
な…何か…！
タオルケットでも…

あきゃ!!
わ！

ぽにゅるん♥

ここの
感触は…!?
おっぱい!!
この感触を
脳内保存
しなくては!!
ご ごめんね
松田君
こ こっちこそ…
うわっ 近い近い!
いい匂いがする!

大丈夫?
うわっ 目の前に…
…この薄い布きれ一枚の
向こう側に鹿島さんの
アソコが…

うおお
もおダメだ！
ゴゴゴゴゴ
どーなってもいいから鹿島さんを
後ろから思いきり抱きしめたい!!
掃除機が…
か 鹿島さん!!

な何？
ガン
あ！
ガラ

うわっ!!
冷(つめ)て！
ビシャアアアアア
あ…
だ 大丈夫!?
何か拭くもの…
どうぞ
スイ
ありがと！

松田君…
コレって…
私の身体
見て…
興奮しちゃったの？

えいいいよ
自分でやるから
つっ
今…そこは
マズイ…
いいから
動かないで…
え？

あ…
ガチ
ガチ
カアアア

鹿島さん…？

もう…こんなに
ガチガチにして…
これじゃ
タオルだけでは
拭ききれないわね
え？
ペロ

私のおっぱいで拭いてあげる♡
ぱふっ
ピク〜ピク〜
かしま…さん…？
もにゅ
あう…
ズニュ
すごく…やわらかくて…あったかい…
ズボボ
気持ちいい…
あ…
グニュ
もう ずるいです 二人だけで…私も混ぜて下さい
ムニュ
ピチャピチャ
あんっ ダメよスイちゃん
せっかく拭いたのにまた濡らしちゃ

だったら二人で…

はぁ はぁ はぁ

フリ

フリ

お尻でサンドイッチしてあげるのはどうですか？

しこ

しこ

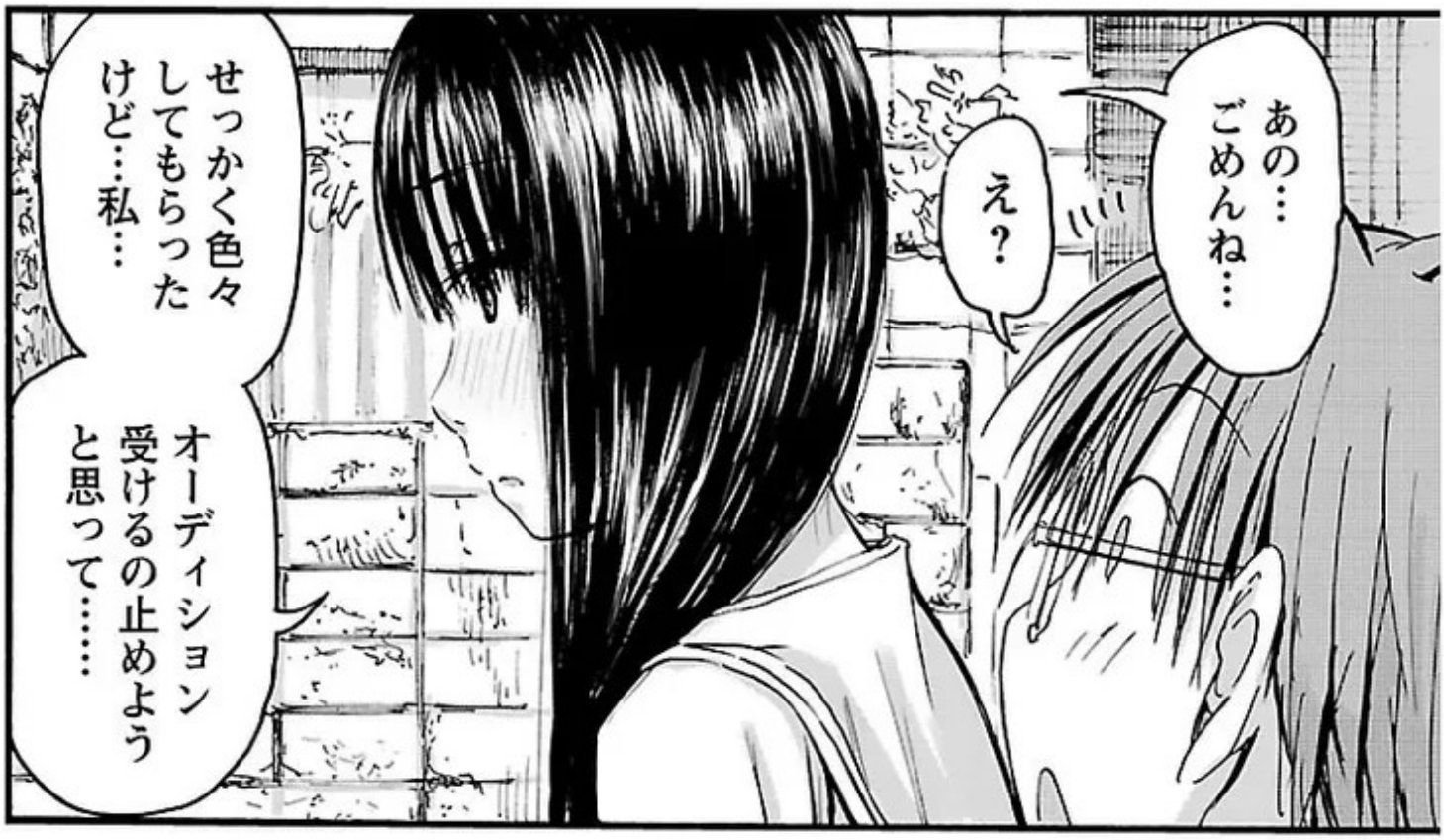
しこ

フリ

だめだ…もうでちゃう…
ムニュ
あぐ
あ すごいビクビクしてる
あう
グニュ
ズリュ
んぐっ
ガマンできない！
ビク
ビク
うあッ！
きゃっ！
あッ
びゅる
るっ
ビクビク
はあああッ

ビクビク
ビク
どくどくどくどく
ビクン
ビクン
ビクン
え…？これって…？
ハッ
うぉ〜しまったぁぁ——!!妄想が爆発して
ちょっと触られただけでイッてしまったぁ——!!
ごごめんもうパンツ取り替えてくる
バタン
だっ
……
お兄サマ…

ハァ…
さっきので
また嫌われ
ちゃった
かな…
はぁ


あの…
ごめんね…
え？
せっかく色々
してもらった
けど…私…
オーディション
受けるの止めよう
と思って……

やっぱり私…人前で
水着になるなんて
恥ずかしすぎて…
まだムリみたい…
そっか…やっぱ男に
ジロジロ見られるの
嫌な気になるよね
あ……うん……

ホント…なんか
スイマセン…
よく考えたらそれオレじゃん…
あ でも…
ズーン
松田君なら
そんなにイヤじゃ
ないかも
え……？
ドキ
あの…松田君は
私の…水着姿……
どう思ったの…？
そ…それは…
最高でした!!
え？ あ…
ありがとう
どき
どき
どき
まずは行動してみては
どうですか？
……

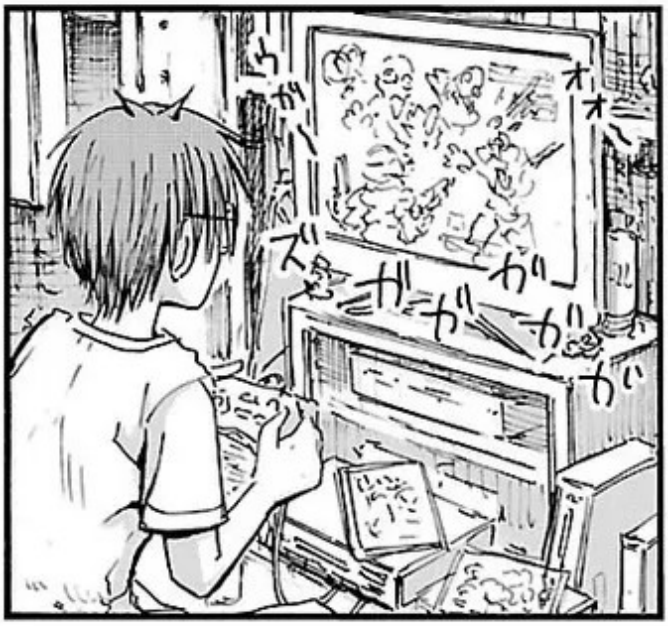
あの…夏休みになったら
一緒に海……行かない？
え!?
それって……
二人で……!?
ってイヤイヤイヤ
んなわけねーだろ

スイや観音寺も
誘って皆で
ってことだよね？
え？ あ…
ううん
ホラ せっかく水着買ったのに
ムダになっちゃうし…

でも鹿島さんと
海かー
でへへへ
ですよねー

ボリ
もう…
バカ…

第14話


オオ
ズガガガガ

また今日もゲームですか
ギク

別にいいだろぉ
私…お兄サマがウチで漫画描いてるの見たことがないんですが
漫画家目指してるんですよね？

描こうにも面白いネタが思い浮かばないんだからしょーがないだろぉ〜
やっぱ こう何か刺激がないと……インスピレーションが湧かないっていうか…

刺激ですか…
そう なんか
遠くへ旅行
するとか
かわいい
女の子と
出会って
恋愛するとか

かわいい女の子なら
出会ってるじゃないですか
え？

はあ…
どこがだよ
ガチャ
ガチャ
ATUATU

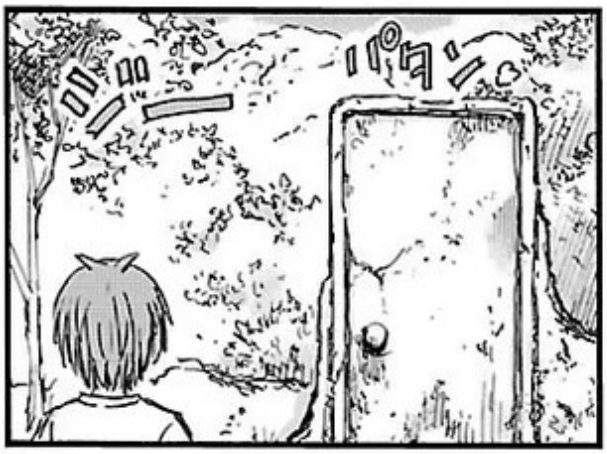
なんでですか！ 雪菜ちゃん
かわいいかわいいって
言ってたじゃないですか
だったら似てる私も
かわいいはずですよね
雪菜ちゃんとオマエは
ぜんぜん違うの！
ATUATU!!!

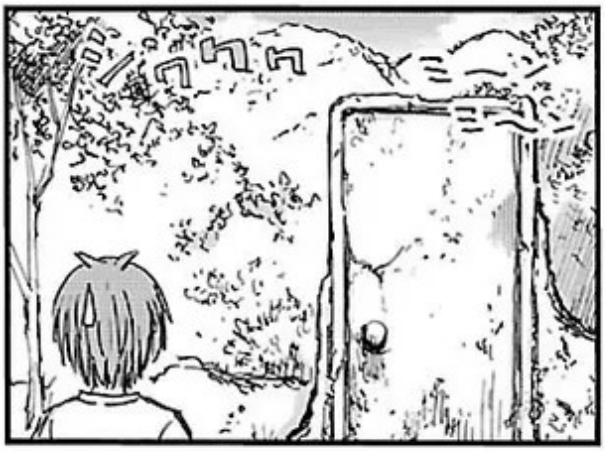
納得いきません
ちゃんと説明して下さい
あーもううるさい！
今日はもう寝る
おやすみ!!
あ ずるいです
お兄サマ
ムー
カッ
ミィーン
ミィーン
ジィー
あつ…
ジリ ジリ
なんだ…？
まぶし……
あーもう ヤケに
セミがうるせーな…
ボリ ボリ
ふあ あ
PIRATES
ALP
ん…？

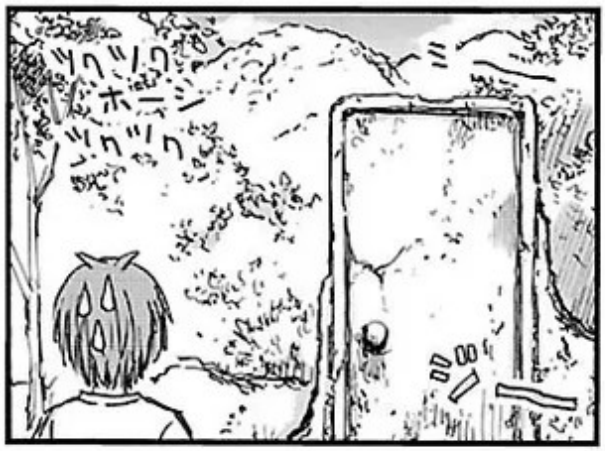
第14話

ウチがボロボロに…
おちつけ！
おちつこんぜ…オレ
いや
ウチじゃない！
ココ…どこ!!
確か昨日は普通に
家で寝て……
やっとお目覚めですか
お兄サマ
スイ!!
お前の仕業か！
ココどこだよ！
なんでオレ
こんな所に!?
どこか遠くに行きたいって
お兄サマが言ってたじゃ
ないですか
いや…確かに言った
けど…どうやって…？
てれてってれ――
ボロ…
どこでも
扉～～～
ウソつけ！

ガチャ
ウソじゃないですよ
いいですか こうして
ここを開けて通り抜けると…


パタン

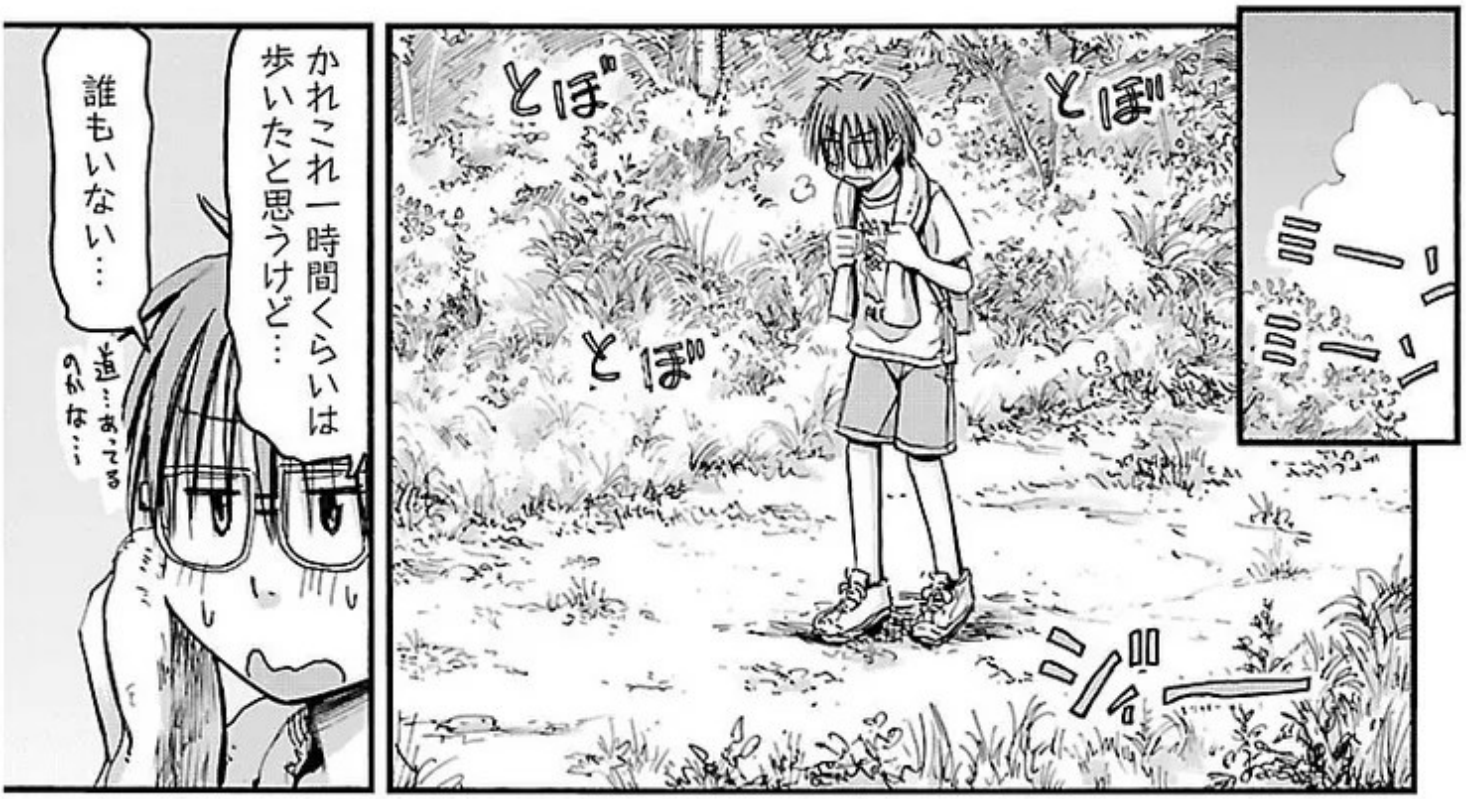



ホッ
ホッ

ウ…ウソだろ
スイ!?
ガチャ
いない…

ザックと
手紙…?

「お兄サマへ　交通費と
必需品は用意したので
あとは自力で帰ってきて下さい」
「なお途中でトラブル等に巻き込まれても
当局は一切関知しないから
そのつもりで スイ」
ズーン
マジか…


とぼ
とぼ
とぼ
誰もいない…
かれこれ一時間くらいは
歩いたと思うけど…
道…あってるのかな…

ん？
よっ
はし
麦わら帽子？
人!?
すいませーん
第一村人発見!!
しかも女の子…

わぁ…
かわいい娘だなぁ…
……って！
お兄ちゃん!?
え？
あごめんなさい
違いました
なんとなく
東京に行っちゃった
お兄ちゃんに
雰囲気が似ていたので…
ついつい…
え…
そう
なんだ…
ハイ
帽子
帽子 ありがとう
ございます
私は湯香です
お兄ちゃ…お兄さんは
こんな所で何を
しているんですか？
えーと
まぁ…
ウチに
帰りたいん
だけど…
ちょっと
変わった
事情が…

へー東京から…
それにしても変わった
妹さんなんですね
そう…
おかげで
大変だよ…
じゃあバス停まで
案内しましょうか
そしたら駅に行って
帰れると思います
え？ いいの？
ハイ 私ちょうど
ヒマしてましたから
ところで湯香ちゃん
ハイ？
この辺に
コンビニ
ないかな？
え？
ホント!?
ありますよ
ハイ 車で
30分くらい
行った所に
それはこの辺
じゃねぇー
えと…じゃあ
自販機は？
あ 飲み物ですか
うん 全部
飲んじゃってさ
わかりました
こっちです

って…神社…!?
ハイ
この上です

マジかよ…
ゼェ
ゼェ
はぁーもっと日頃から
運動しとくんだったなぁー

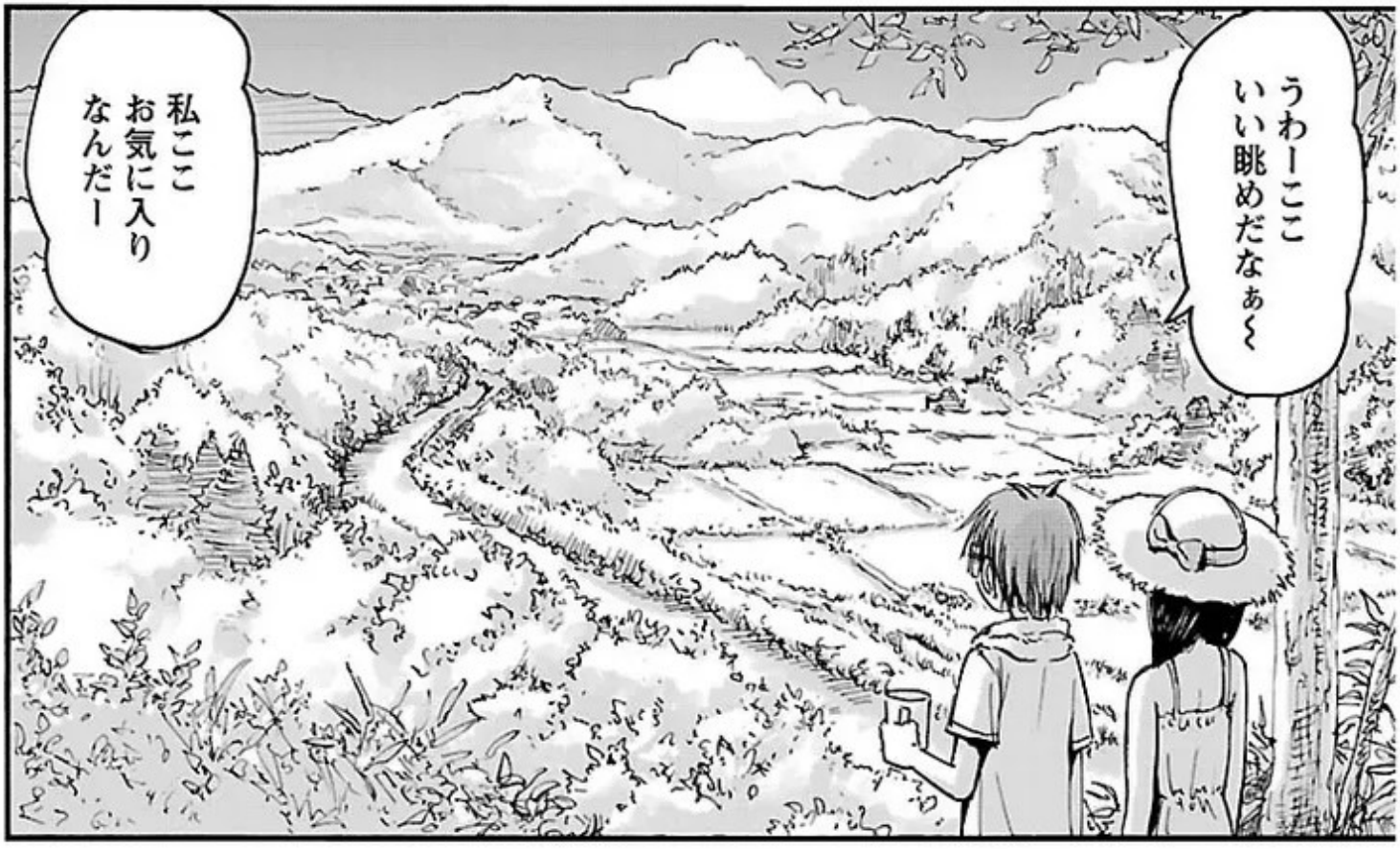
あ もしかしてお兄ちゃ
…お兄さんは
ひきこもりの人
なんですか？

ちゃんと学校行ってます
あと もうお兄ちゃん
でいいけど…
えと…じゃあ…

お兄ちゃん
がんばって！
うぉ～ヤル気
でた――!!

ついたー
…ってアレ？
自販機は？
こっち
こっち
ハイ どーぞ
無料
だよ
じょぼ
じょぼ
え－水かぁー
炭酸が欲しい…
フーか コレ
飲めんの？
もちろん
じゃぼぼぼ
……
ゴク
ゴク
はぁーおいしー
ハイ お兄ちゃんも
どーぞ
え？
じゃあ……
！
ゴク
ゴク
ゴク
ゴク

なんかスゲー
うめ――
でしょー
この湧き水はこの村の
自慢なんだから！
きゃきゃ


うわーここ
いい眺めだなぁ～
私ここ
お気に入り
なんだー

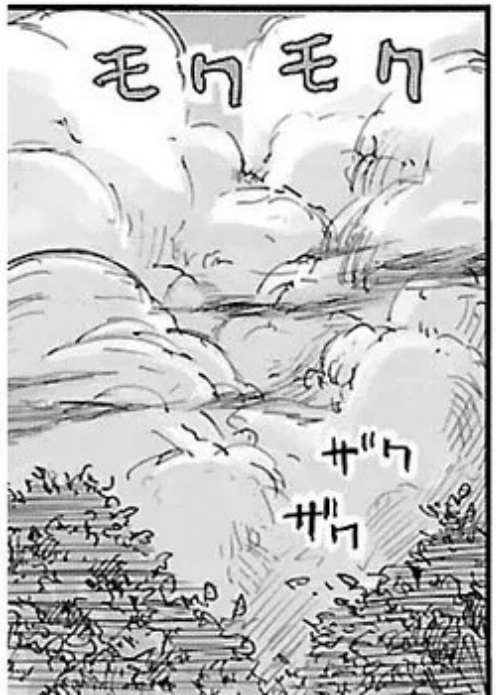
ハァー何か
癒されるなー
こういう所に
住むのも
悪くないかも
……

じゃあお兄ちゃんも
ココで一緒に住もうよ
そしたら私がお兄ちゃんの
お嫁さんになってあげる

え？

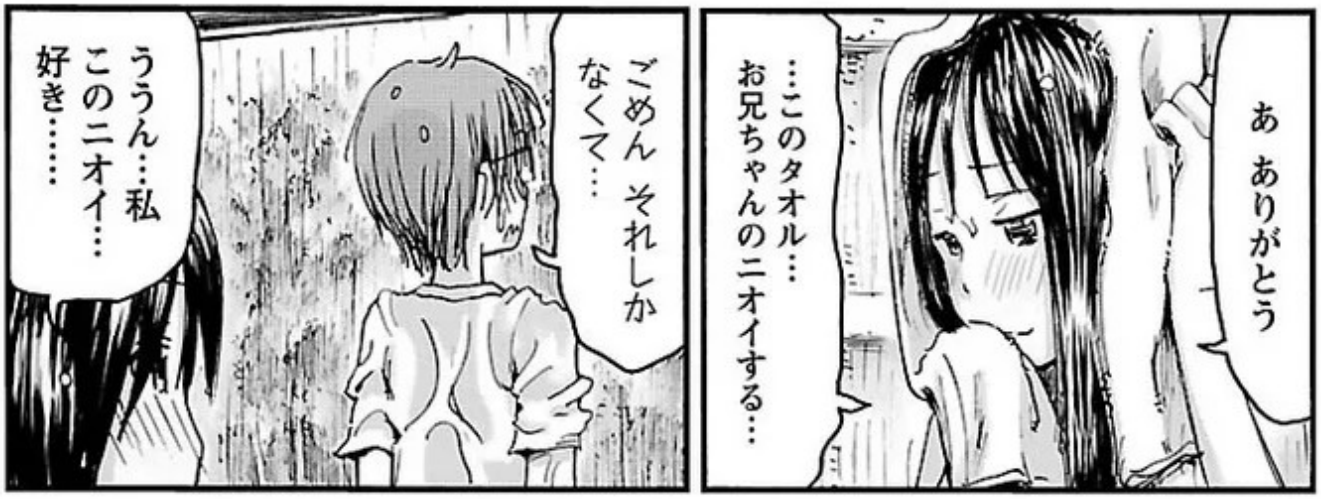
なんてねーウソウソ
そしたら
お兄ちゃんの
妹さんが
かわいそうだもん

だめだよ 私のお兄ちゃんみたいに
妹を放ったらかしにして
淋しい想いさせたら
あー——
うん…
まー今放ったらかしに
されてるのはオレの
方なんですけどねー

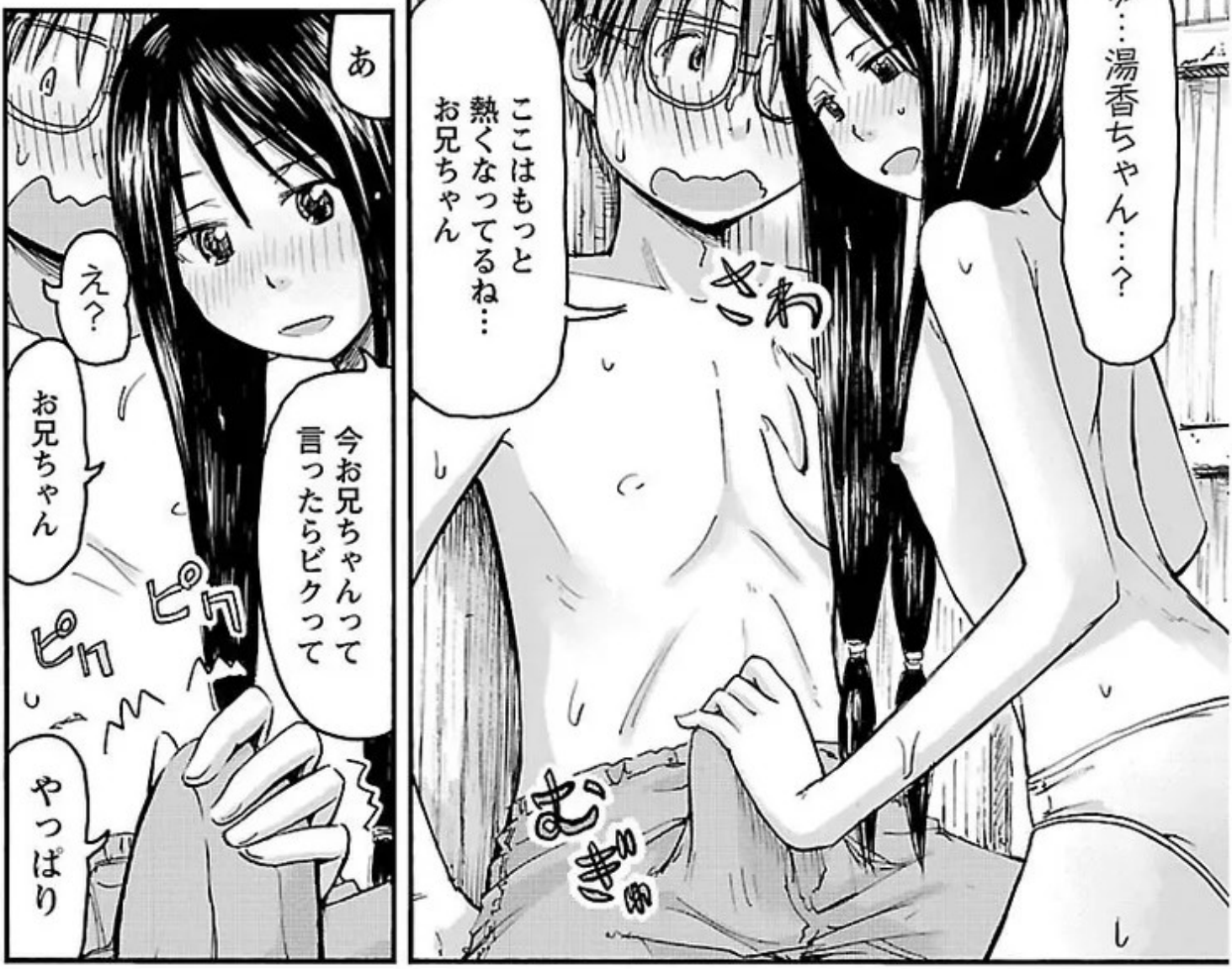

モクモク
ザク
ザク

お兄ちゃん早く！
もうすぐバス停
だから
ゲコ
ゲコ
急がないと
雨降って
きちゃうよ
そんなこと
言われても…
体力の…限界…
きゃ――――
降ってきた――
もぉ…だらしないなぁ
ホラ お兄ちゃん
がんばって！
ぱー
しゃ

あーあ もう…
ビチョビチョ…
ぐしょ
ドキ
って きゃあ！
もう
お兄ちゃん
どこ見てんの
えっち～
わ ごめん
これタオル…


あ ありがとう
…このタオル…
お兄ちゃんのニオイする…
ごめん それしか
なくて…
ううん…私
このニオイ…
好き……

え？…って！
湯香ちゃん！ 服!?
ホラ お兄ちゃんも
服 脱がないと
カゼひいちゃうよ
い…いや…
でもこんな
所で…
大丈夫 バスまで
時間あるし ここ
誰も通らないよ
ドキ
あ お兄ちゃん
あったかい…

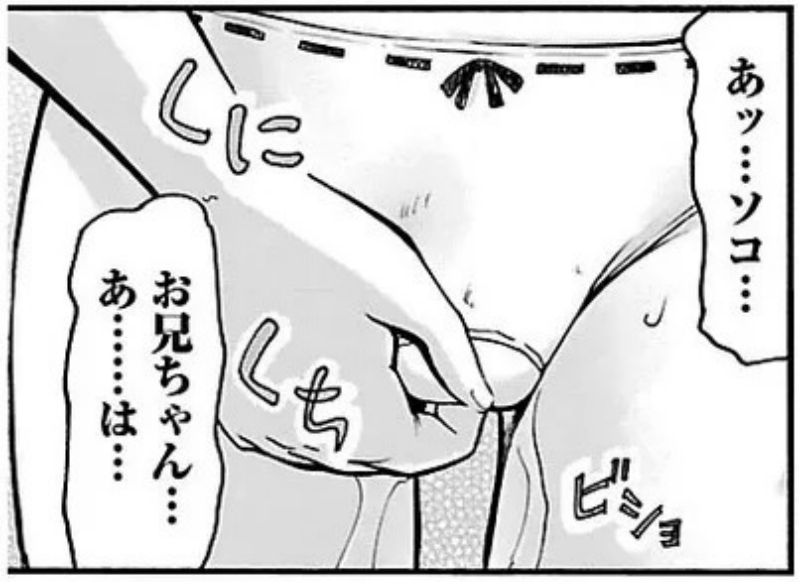

ゆ…湯香ちゃん…？
ここはもっと
熱くなってるね…
お兄ちゃん
さわ
あ
え？
お兄ちゃん
今お兄ちゃんって
言ったらビクって
ピク
ピク
やっぱり
むぎゅ

もしかしてお兄ちゃん
妹さんのこと本当に
好きなの…？
え？
まさか
スル
もみ
何考えてるのか
よくわかんないし……
そんなの簡単
だと思うな
え？
くに
くに

妹はいつもお兄ちゃんのこと…想ってるよ

ゆ…
湯香ちゃん！
お兄ちゃん…
あっ
う…

お…お兄ちゃん上手なんだ…
んっ
くりっ
んちゃんちゃ


あッ…ソコ…
お兄ちゃん…あ……は…
ビショ

あっ
はっ
んっ

あっダメ…
お兄ちゃん…
ふぁっ
わ…わたし…
オ…
オレも…
もう…

ピクン
ふあッ
むにむに
んちゅレロレロ
お兄ちゃ…んっ
あ
コスコス
くちくち

ビクン
ビク
ああッ
ビク
ビク
ふあッ
あああッ

あれ？ いつの間にか…雨…止んでる…
ハァ
ハァ
ハァ
あ 見て！ お兄ちゃん あれ！

てなわけで 無事
バスに乗れてウチに
帰ってきたわけよー

いや～それにしても
かわいかったなー
湯香ちゃん
やっぱ妹ってのは
ああでなくちゃ
そうですか そんなに
かわいかったですか

うんスゲー
かわいかった!
ニヤ
ニヤ
って なんで
ニヤけてる
んだよ

いえ…別に…

第15話

ハァー 今日も
また観音寺の
手伝いで女装
か――
だんだん
抵抗感
なくなって
きたなー
おっす――
ちんたら
歩いてねーで
早く来いよ
まったく 待たせちゃ
悪いだろ
え？ 今日は
鹿島さん
いるの!!
バーカ 残念
鹿島はバイトだよ
え――
その代わりって
わけじゃねーけど
ビックリすんなよ
NE☆KO
ZOMBI

なんと水城雪菜ちゃんが
遊びに来てくれましたー
ども
え!? スイ!
なんで!?

この前メイド喫茶で
会った時 連絡先
交換してさ
で オレが漫画描いてる所
見てみたいって

いやー知らなかったよ
お前 雪菜ちゃんと本当に
知り合いだったんだな
水城雪菜
まさか このサイン本物だったとは…
それまだ持ってたんだ…

松田も本物なら本物って
ちゃんと言えよなー
いやーだってそれニセモノだし…

すいません…私…ほとんどサイン
なんて書いたことなくて…
良かったら書き直しましょうか?

いやーいいっていいって
これはこれで記念になるし
その代わりって
わけじゃないけど
オレも
雪菜ちゃんのこと
「スイちゃん」って
呼んでもいい？
ハイ！
もちろんです
水城

ゴー
わーこれが生原稿
なんですねー
初めて見ましたー
綺麗
ですね
そ
そう？
ハイ あこの
キャラかわいい！

…しかし…スイのやつ
だいぶ雪菜ちゃんのフリ
上手くなったな…
って…まさか
本当にスイが
雪菜ちゃん
てことは…
あ あるわけ
ないよな…
あ ちょっと
ごめん
担当編集さん
から電話

今から編集さんが差し入れ持って様子見に来るって言ってるけど
何か食べたいものある？

もしもし
あ ハイ 大丈夫ですけど
…いえ 友達が手伝いに来てくれて…ちょっと待って下さい

あ じゃあ冷たいアイスでも…
テメーにゃ聞いてねー
スイちゃんは何かない？
ゲシ ゲシ

あ じゃあ駅前のケーキ屋さん「ティンクル」のプディングがおいしいって聞いたことあるんですけど
あ オレも聞いたことある！ いいね それにしよう！
それはどうですか？
一度食べてみたかったの

秋川 松田
通話終了
あと30分位で来るってさ
そういや担当編集さんの名前も松田っていうんだぜ
え？

もしかしてオレって松田って名字の人と何か縁があったりして…

ま…まさか…
って なんだよ 青い顔して！
オレと縁があんのそんなに不満だってのか!?

あ いや…今描いてるこの漫画…
どこの 出版社だっけ？

え？ 秋川出版だけど？
オレ帰るわ

ハァ？ 何言ってんだよ急に
…今来たばっかだろ
あ もしかして
お知り合いの
方とか
え!?
そうなのか？
スイは
知ってるダロ！
じ…実は…

え!? 松田さんが
お前の姉ちゃん!!
そういや確かに
姉ちゃんいるって
言ってたけど…
でも結構かわいい
人だぞ!?

という わけで
オレは帰る
さすがに女装の身内バレは
死にたくなる…
いやいやいや
まてまてまて
なんだよー
放せよー

手伝ってもらわなきゃ
こっちも困るし
大丈夫だって
わかんねぇよ
そうですよ 私達が協力すれば
お姉サマにはバレませんよー

ウソじゃないですよ
ホラ お姉サマって少し
天然な所ありますし
あ――
あるある
ま―確かに…

ウソつけ お前ら
面白がってるだけ
だろぉ～～～～
笑顔
恐(こえ)ぇーよ

てか姉ちゃん
皆に天然だと
思われて
ますよー
オレも
だけど…
って アレ?
スイちゃんも
松田さんのこと
知ってるの?
あ ハイ 以前
お仕事でご一緒
して仲良く
なりまして
今では「スイちゃん」
「お姉サマ」の仲です
ウソつけ!

とにかくムリムリ
いくら姉ちゃんでも
声で気付くって…
そこはホラ
私の得意な
腹話術で
なんとか
なりますよ
お兄サマ♡
おおっ！流石
プロの声優！
パチパチパチ
そうですかー
ありがとー
ございます
ああ もう
イヤな予感
しかしない…
こんにちはー
おじゃましまーす
こんにちは松田さん
いらっしゃい
どーも
え!?

スイちゃん!?
なんで観音寺さんの所に!?
あ 以前にバイトで一緒になりまして 今日はたまたま遊びに…

あとこちらは友達で手伝いに来てくれてる
アキちゃんです
こんにちは——
あら?
ヤベッバレた!?

どこかで会ったことない?
初めてって感じがしないのだけど…
私もです
あーそういえば差し入れのプティングは…?
あ そうそう人気あるみたいでこれが最後だったの

パカ
わ
おいし
そ
いただき
まーす
ん！
おいし
なんでも隠し味に
リキュールが入ってる
らしいですよ
ん？ リキュール？
そういや観音寺
お酒ダメなんじゃ…？
原稿の進み具合は
どうですか？
まだ途中
ですけど
まーさすがに
これくらいなら
大丈夫か
うわーすごく
いいじゃない
ですかー
あ でもここの
コマですけど
ちょっと
バランスが…
あ 確かに…

実はあんまり人が絡んでるとこ描いたことなくて…
ちょっと難しいんですよね……
NETTKO
ZOMBI

あ だったら私達がポーズモデルやりましょうか？
え!? 私達!?
そうですね 人数もいますし

え？ でもスイちゃんにまで そんなこと…
せっかく来たんですから私にも何かお手伝いさせて下さい

えーとじゃあこんな感じなんだけど…
あ…ハイ こうなって…

こんな感じですか？
ぎゅ
あ うん もう少し腕を上にして…強く…うん そう

……

なぜか秋ちゃんをスイちゃんにとられたよーな気持ちに…

ハイ 次のシーンは 私が

こっちのキャラは主人公より背高いですし…私の方が

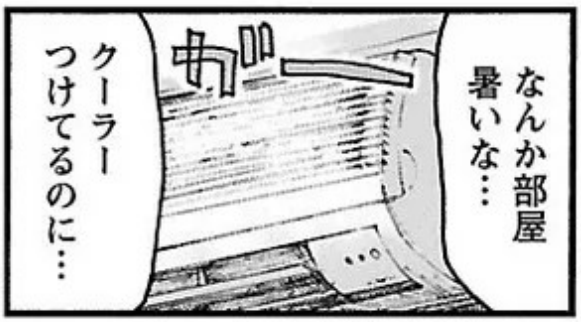
え？ 松田さんまで？

…じゃあお願いします

ハイ

ポ

あ



なんか部屋暑いな…

クーラーつけてるのに…

まあ さすがに一部屋に四人もいるし仕方ないか…

そうですね

あ だったら みんなで服脱いじゃいますか？

パ

そうね この部屋には
女の子しかいないんだし
えっ!?
それにポーズも
脱いでた方が参考に
なりますよね
お姉サマ…
…まぁ 松田には見られたこと
あるし…下着ぐらいいいか…
それに松田の奴
困ってて
面白そうだし…
よし!
え!?
観音寺!?
ぶるん
ぽ
ぽ
ぽ

じゃあ次のは
この三人のやつね
えーと
私がこう
かな…？
では私は下になりますから
アキちゃんは真ん中に…

こ…これは…気を
抜くと…アソコが
反応してしまう…

ホラ アキちゃんも
脱いで
え!? オレも!?
こういうのは
皆でやらないと
恥ずかしいだろ
胸小さいからって
恥ずかしがらないで
下さい 私もですから

あ もうちょっと
密着して
あ そうそう
いい感じ…そのまま
カキ
カキ

!?
もぞ
もぞ!!

こ…こら…
バカ…スイ…
レニ
レニレニ
ぴ〜ぴ〜
あら…アキちゃん
どうかしたの？
顔…
真っ赤よ
いえ…松田さんが
きれいなので緊張して
…しまって…
あら アキちゃんも
すごくかわいいわよ
私ったら女の子相手に
すごくドキドキしちゃう
私も…ドキドキ
してます…

はっ
んっ
んん
しこしこ
しこしこ

私…前から
松田さんのような…
素敵なお姉サマが
欲しかったんです
ピク ピク
しゅ
しゅ
しゅ

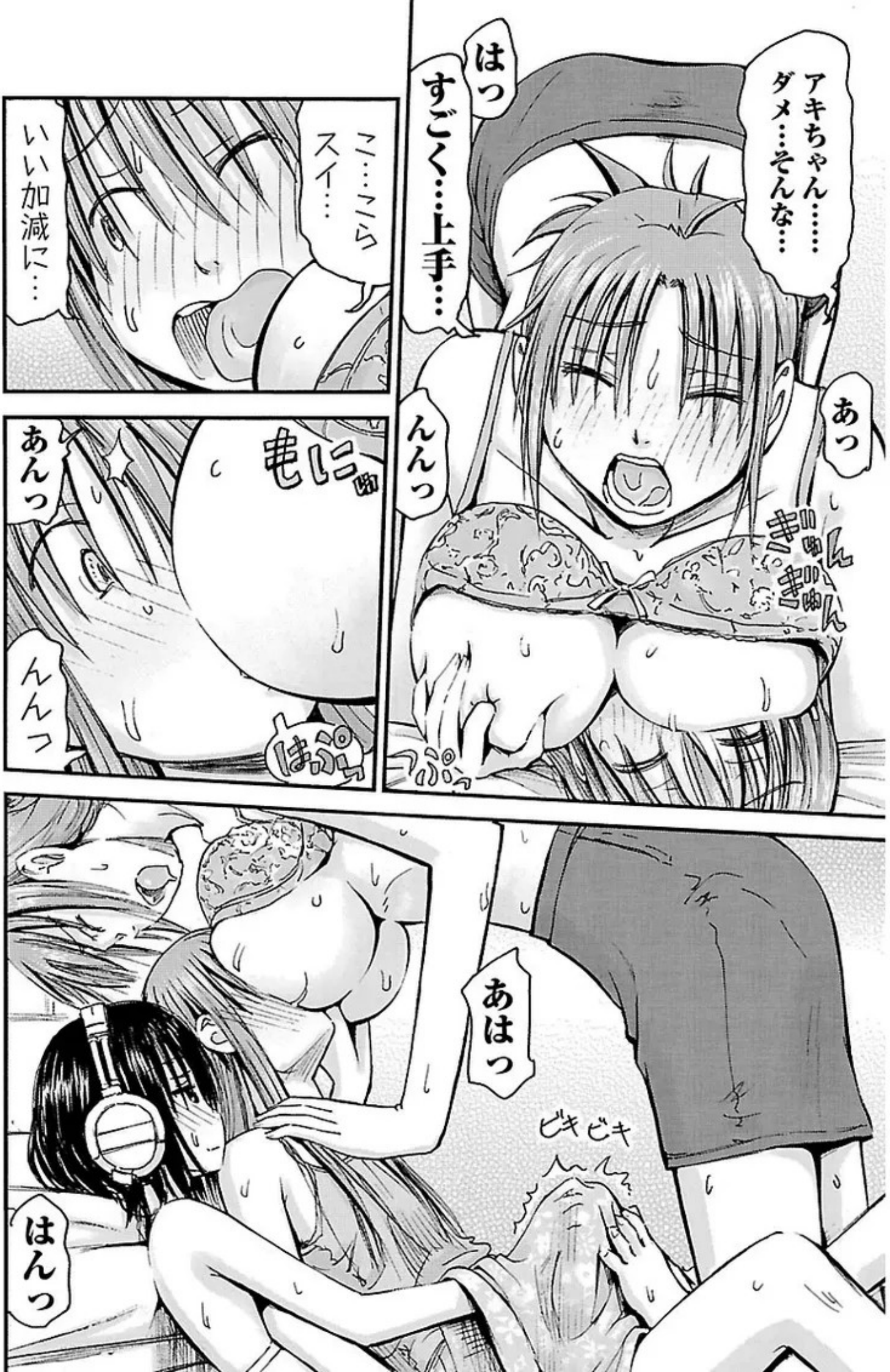
嬉しい…私もアキちゃん
みたいな妹なら大歓迎よ
んんっ

だいたい観音寺からは
丸見えじゃ…
チラ

うう…スイ…バ…バレちゃう
だろ…いい加減にしろよ
はぁ
はぁ
はぁ

って 観音寺何やって…
ハァ
ハァ
ゲ!! 酔っぱらってる!?
目がすわってるし…
チラ
はう
バ バカ 観音寺まで…ヤ…ヤメロ…
こ…こんな状況で…バレたら…オレ…

お兄サマ…何考えてるんですか
ものすごく興奮してますよ
そ…そんなわけ…
はう
ぐりぐり
ぐりぐり
んぐ
きゃ！
アキ…ちゃん？
もみっ
え？ オレ…何もしてないけど…
スイか!!
もにゅ
もにゅ
お姉サマの胸…
やわらかくて…モチモチしてて…うらやましいです…
ダ…ダメよアキちゃん
乳首もすごく感度いいんですね
んっ
あんっ



アキちゃん……
ダメ…そんな…
はっ
すごく…上手…
あっ
んんっ
ぎゅん
ぎゅん
つぷっ
こ…こら
スイ…
いい加減に…
もにゅ
あんっ
んんっ
はぷっ
あはっ
ビキビキ
はんっ

あ…
ちゅ♡
あんっ
ちゅ♡
ちゅ♡
んんっ

……
う～

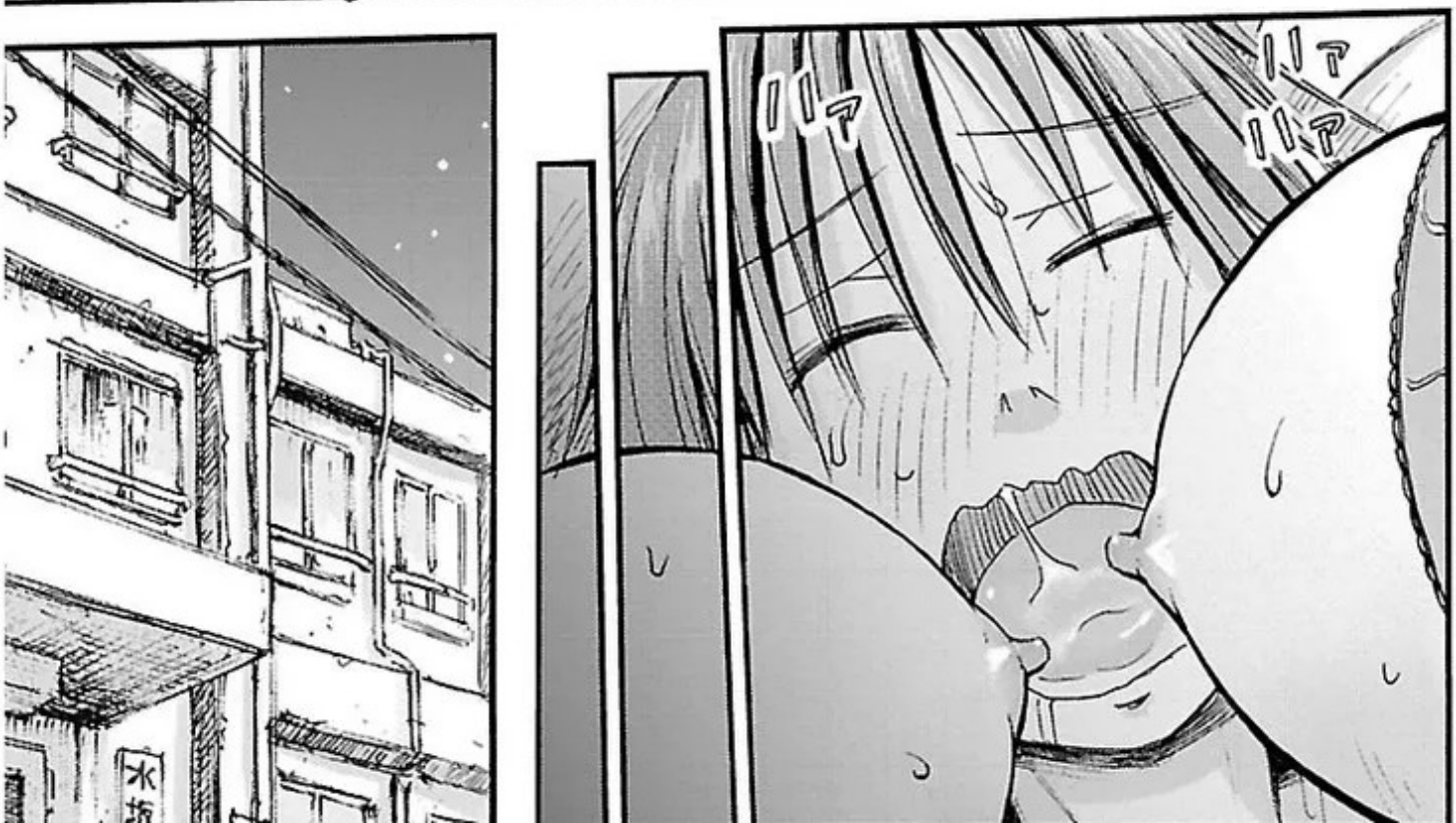
ずるいぞ～三人だけで～
オレも混ぜろぉ～～～
え？

わっ！ 観音寺!!
ぎゅう
オレも一緒にギュ――ってやる～～～～

うぐ
観音寺のおっぱいと…
むにゅ
ばふっ
姉ちゃんのおっぱいに挟まれて…

うぐ…息が…できない…
むぎゅ
みち
苦しいけど…気持ち…いい…
コスコス
ダ…ダメだ…もう…
ビクン
んぐ
ビクン
いくっ!!

んあっ
あッ
あああッ


ハァ
ハァ
ハァ

『妹！アンドロイド』第②巻/完

妹!アンドロイド
Sister! Android Presented by Shiki Tanisawa

YC 烈
COMICS
ヤングチャンピオン烈コミックス

妹（いもうと）！アンドロイド②

谷澤史紀（たにさわしき）

©SHIKI TANISAWA 2015

2015年4月1日　初版発行

発行者
秋田貞美
発行所
株式会社 秋田書店
〒102-8101 東京都千代田区飯田橋2丁目10番地8号
【編集部】TEL.03-3265-7362【販売部】TEL.03-3264-7248
【振替口座】00130-0-99353

印刷所
三省堂印刷株式会社
装　幀
芦田慎太郎

本書のコピー、スキャン、デジタル化等の無断複製は、著作権法上での例外を除き、禁じられています。本書を代行業者等の第三者に依頼して、スキャンやデジタル化することは、たとえ、個人や家庭内の利用でも著作権法違反です。

（禁／無断転載・放送・上映・上演・複写・公衆送信・Web上での画像掲載）

ISBN978-4-253-25682-7
Printed in Japan

デジタル版　2015年発行
製作所　デジタルカタパルト株式会社
http://www.digital-catapult.com

★この作品はフィクションであり、実在の個人・団体等にはいっさい関係ありません。

とらの穴様にて
お買い上げ頂き
ありがとうございます。
妹！アンドロイド
2巻
SAMPLE
谷澤史紀
©谷澤史紀／ヤングチャンピオン別

姉ノアンドロイド
2巻
COMIC
ZIN様にて
お買い上げ頂き
あいげとう(ございます)
SAMPLE
谷澤史紀